

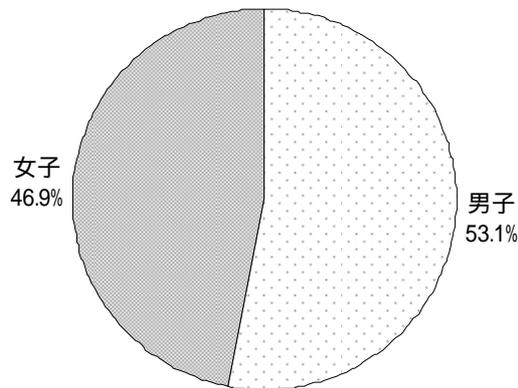
1. 基本属性

性別、年齢

F1-1 お子さんの性別は。

調査対象の子どもの性別は、男子が53.1%、女子が46.9%となっている。

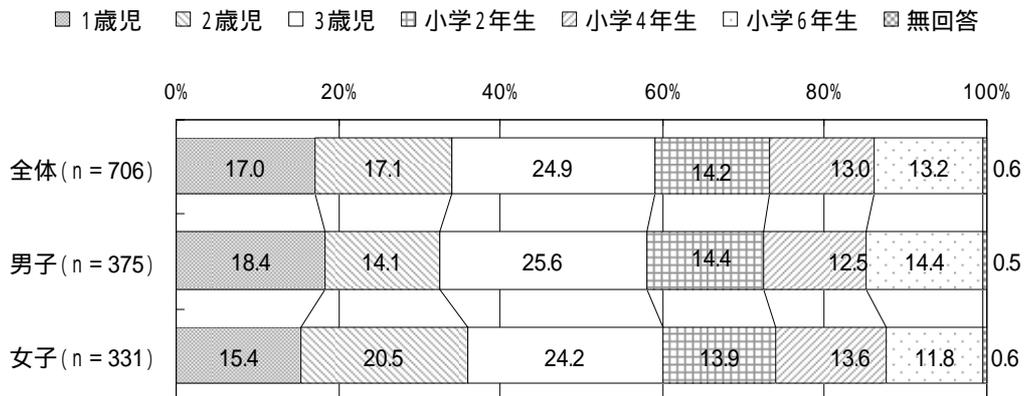
F1-1 性別 (n=706)



F1-2 お子さんの年齢は。

最も多いのが、「3歳」(24.9%)、次いで「2歳」(17.1%)「1歳」(17.0%)となっている。

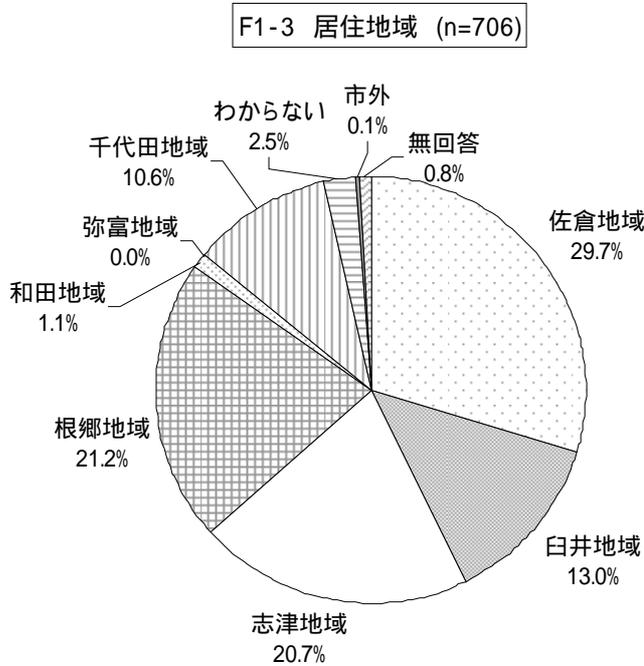
F1-2 子どもの年齢(学年)



居住地域

F1-3 お住まいの居住地域は。

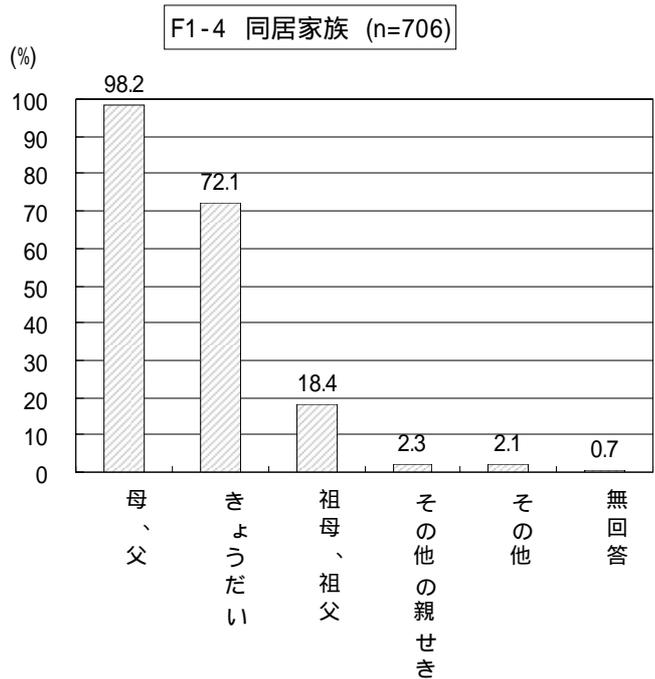
回答者の居住地域の分布は、最も多いのが、「佐倉地区」(29.7%)、次いで「根郷地区」(21.2%)、「志津地区」(20.7%) となっている。



同居者

F1-4 お子さんから見た続柄で、現在の同居者をすべて選んでください。

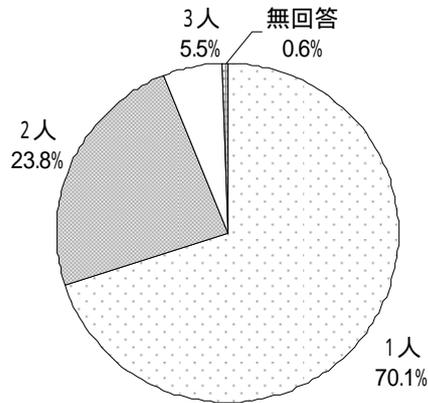
子どもにとっての同居者は、最も多いのが「母・父」(98.2%)、次いで「きょうだい」(72.1%)、「祖母・祖父」(18.4%) となっている。



SF1-4-1 (F1-4で「きょうだい」に つけた人のみ) お子さんにはきょうだいが何人いますか。

子どものきょうだいの数(本人以外)は、最も多いのが「1人」(70.1%)、次いで「2人」(23.8%)、「3人以上」(5.5%)となっている。

SF1-4-1 きょうだいの人数 (n=509)

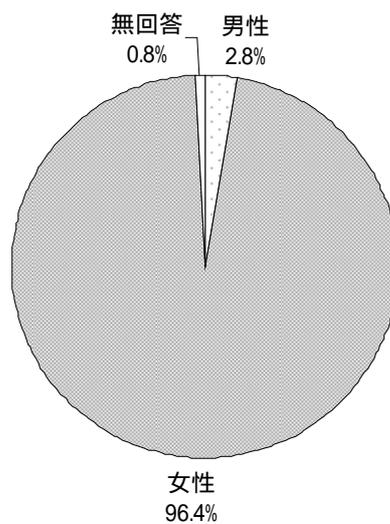


記入者の性別・年齢

F2-1 あなたの性別は。

性別は、女性が96.4%、男性が2.8%であるとなっている。

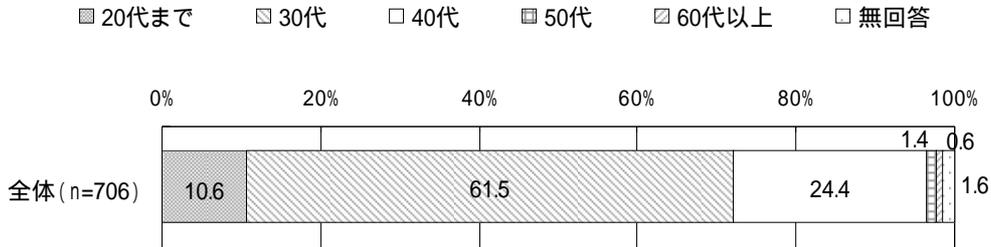
F2-1 記入者の性別 (n=706)



F 2 - 2 あなたの年齢は。

年齢は、最も多いのが「30代」(61.5%)、次いで「40代」(24.4%)、「20代」(10.6%)となっている。

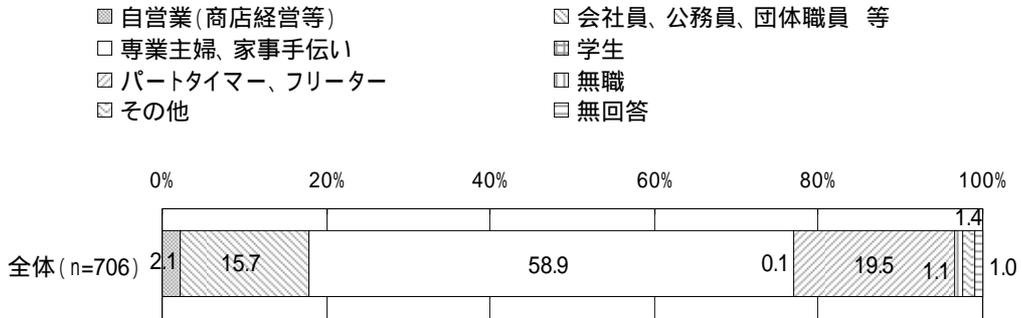
F2-2 記入者の年代



F 2 - 3 あなたの職業は。

職業は、最も多いのが「専業主婦・家事手伝い」(58.9%)、次いで「パートタイマー・フリーター」(19.5%)、「会社員・公務員・団体職員等」(15.7%)となっている。

F2 - 3 記入者の職業



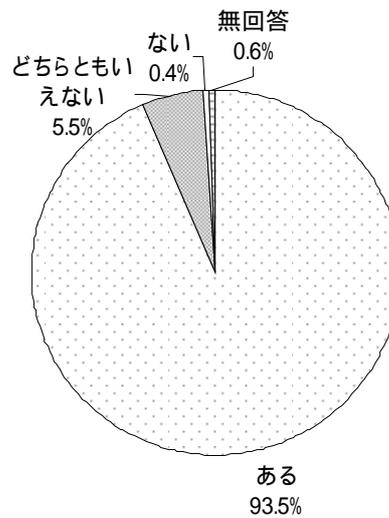
2. 健康についての考え方

自分や家族の健康への関心

問1 あなたは、自分や家族の健康に関心がありますか。

自分や家族の健康への関心の有無について、「ある」と回答した人は、93.5%を占める。

問1 自分や家族の健康に関心 (n=706)

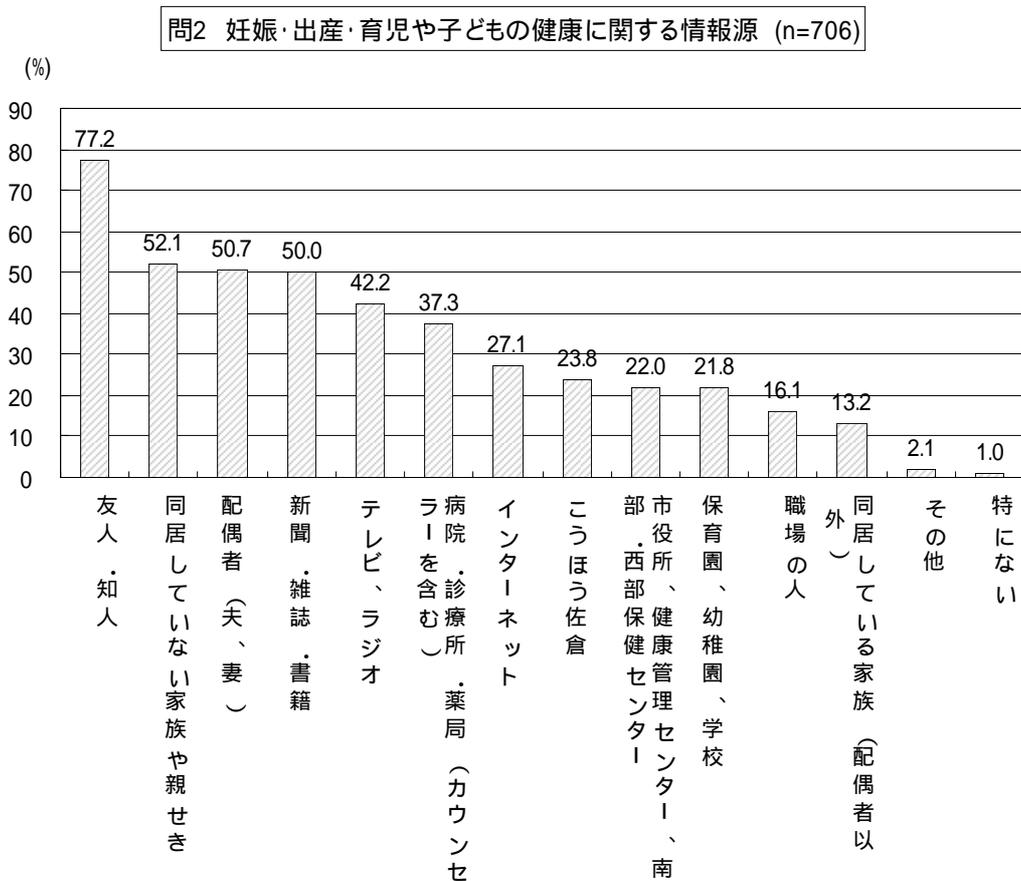


子育てや健康等の情報源

問2 ふだん、どこ(だれ)に、妊娠・出産・育児やお子さんの健康に関する情報を聞いていますか。

子育てや子どもの健康に関する情報源については、最も多いのが「友人・知人」(77.2%)、次いで「同居していない家族や親せき」(52.1%)、「配偶者(夫、妻)」(50.7%)という結果であるとなっている。

幼児・小学生で比較すると、「友人・知人」「同居していない家族や親せき」の割合が高いのは幼児であるとなっている。



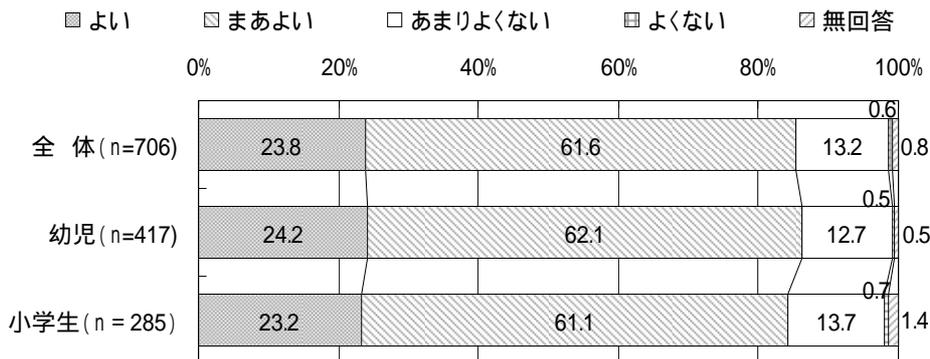
	友人・知人	同居していない家族や親せき	配偶者(夫、妻)	新聞・雑誌・書籍	テレビ、ラジオ	病院・診療所・薬局(カウンセラーを含む)	インターネット	こうほう佐倉	市役所、健康管理センター、南部・西部保健センター	保育園、幼稚園、学校	職場の人	外)	同居している家族(配偶者以外)	その他	特にない
全体 (n=706)	77.2	52.1	50.7	50.0	42.2	37.3	27.1	23.8	22.0	21.8	16.1	13.2	2.1	1.0	
幼児 (n=417)	83.0	59.2	55.9	50.1	37.6	40.0	32.1	26.9	28.5	23.0	13.4	10.1	2.4	0.7	
小学生 (n=285)	69.1	41.8	43.2	50.2	49.1	33.3	19.3	19.6	12.3	20.4	20.4	17.9	1.8	1.4	

子どもの生活習慣について

問3 お子さんのふだんの生活習慣についてどう思いますか。

子どものふだんの生活習慣については、「よい」「まあよい」の合計は85.4%であるとなっている。

問3 子どもの生活習慣について / 幼児・小学生区分



3. 栄養・食生活について

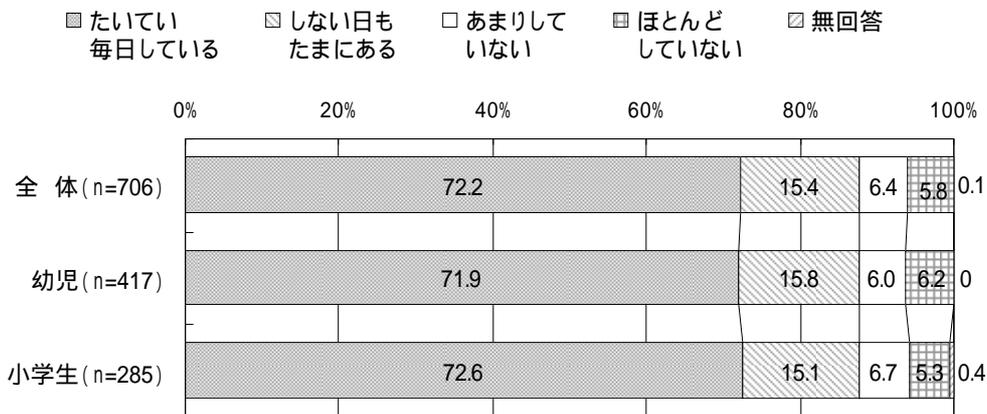
子どもの食生活について

問4 あなたは、お子さんの食生活に関して、ふだん、次のそれぞれのことをどのくらいしていますか。

夜遅い時間の食事をひかえさせる

「夜遅い時間の食事をひかえさせる」は、「たいてい毎日している」(72.2%)の割合が最も高いが、「あまりしていない」「ほとんどしていない」と回答した人も12.2%いる。

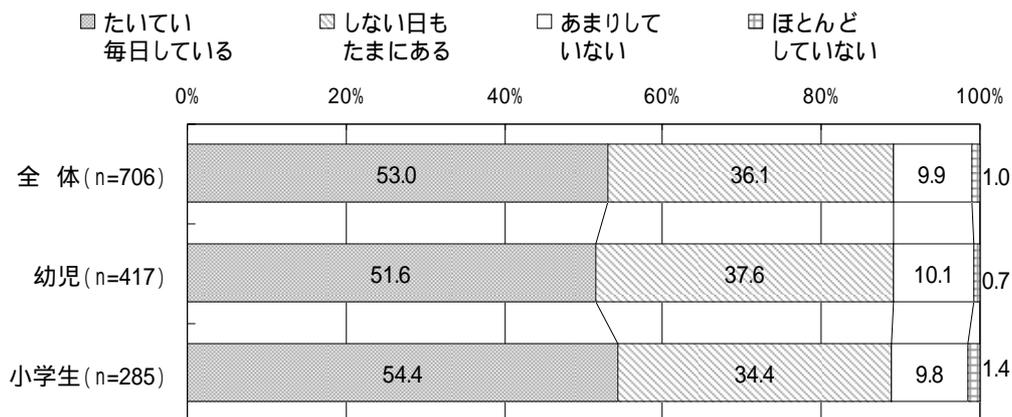
問4 夜遅い時間の食事を控えさせる / 幼児・小学生区分



家族と会話しながら、時間をかけて食事ができるようにする

「家族と会話しながら時間をかけて食事できるようにする」は、「たいてい毎日している」(53.0%)の割合が高く、次いで「しない日もたまにある」(36.1%) **であるとなっている。**

問4 会話をしながら時間をかけ食事をする / 幼児・小学生区分

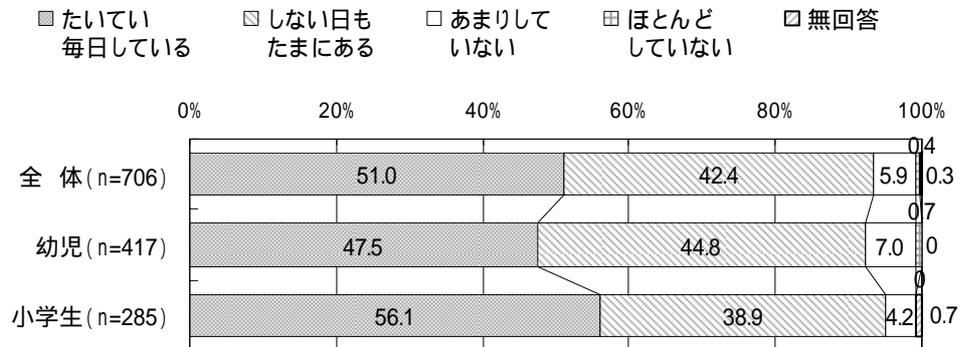


健康づくりのために、栄養や食事について考える

「健康づくりのために栄養や食事について考える」は、「たいてい毎日している」(51.0%)と「しない日もたまにある」(42.4%)がほぼ同じ割合であるとなっている。

幼児・小学生で比較すると、「たいてい毎日している」の割合が小学生の方が高い。

問4 健康づくりのために栄養や食事について考える / 幼児・小学生区分

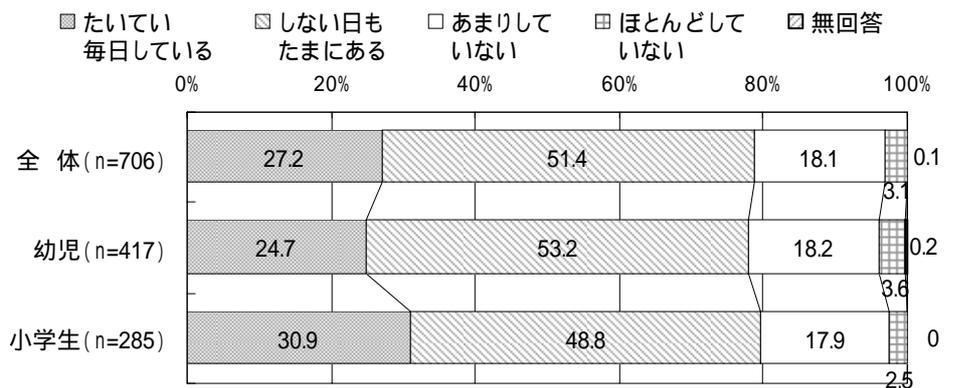


毎食(三食)野菜料理を食べさせる

「毎食(三食)野菜料理を食べさせる」は、「しない日もたまにある」(51.4%)の割合が最も高く、「たいてい毎日している」は27.2%となっている。

幼児・小学生で比較すると、「たいてい毎日している」の割合が小学生のほうが高く、「しない日もたまにある」の割合が幼児のほうが高い。

問4 毎食(三食)野菜料理を食べさせる / 幼児・小学生区分

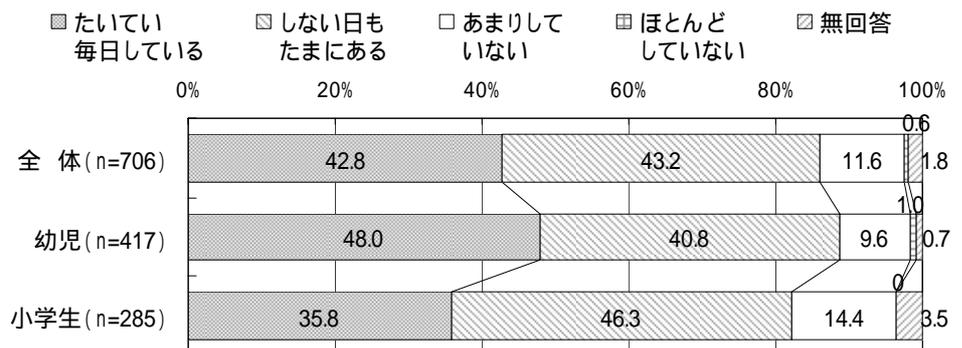


カルシウムが多い食品をとらせる

「カルシウムが多い食品をとらせる」は、「しない日もたまにある」(43.2%)の割合が最も高く、次いで「たいてい毎日している」(42.8%)、「あまりしてない」(11.6%)であるとなっている。

幼児・小学生で比較すると、「たいてい毎日している」の割合が高いのは幼児で

問4 カルシウムが多い食品をとらせる / 幼児・小学生区分

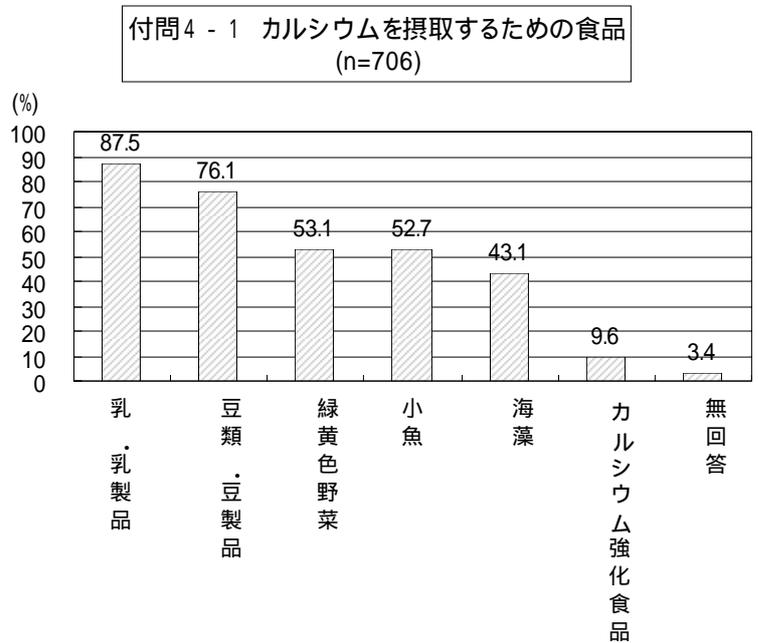


あるとなっている。

付問4 - 1 具体的には、何でカルシウムをとらせるようにしていますか。

「乳・乳製品」(87.5%)の割合が最も高く、次いで「豆類・豆製品」(76.1%)、「緑黄色野菜」(53.1%)
であるとなっている。

幼児・小学生で比較すると、「乳・乳製品」は各層で90%前後と最も割合が高い。
幼児で「緑黄色野菜」「小魚」の割合が高い。



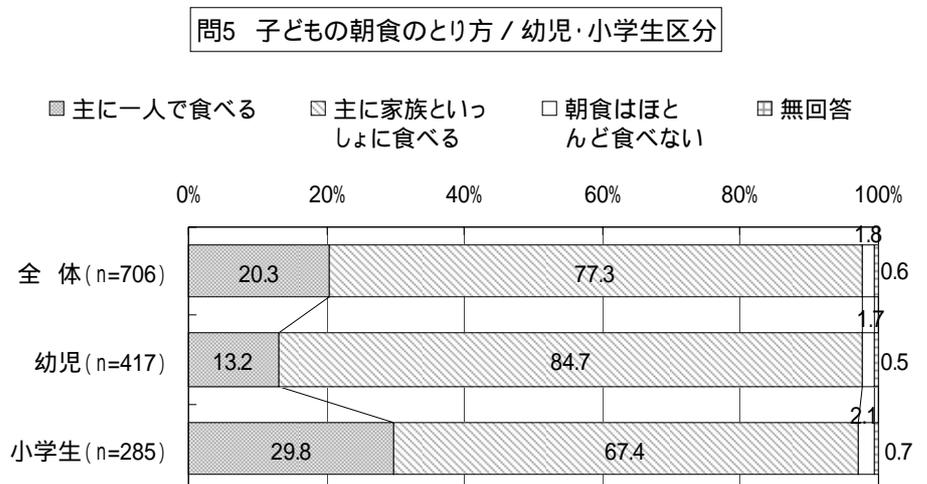
	乳製品・乳	豆類・豆製品	緑黄色野菜	小魚	海藻	カルシウム強化食品	無回答
全体	87.5	76.1	53.1	52.7	43.1	9.6	3.4
幼児	87.8	78.9	56.4	54.7	41.5	12.7	1.4
小学生	87.7	71.9	48.4	49.8	45.3	4.6	6.0

朝食の状況

問5 お子さんは、朝食はどのように食べていますか。

子どもの朝食のとり方は、「主に家族といっしょに食べる」(77.3%)の割合が最も高く、次いで「主に1人で食べる」(20.3%)
であるとなっている。

幼児・小学生で比較すると、「主に家族といっしょに食べる」の割合が高いのは幼児、「主に1人で食べる」の割合が高いのは小学生
であるとなっている。



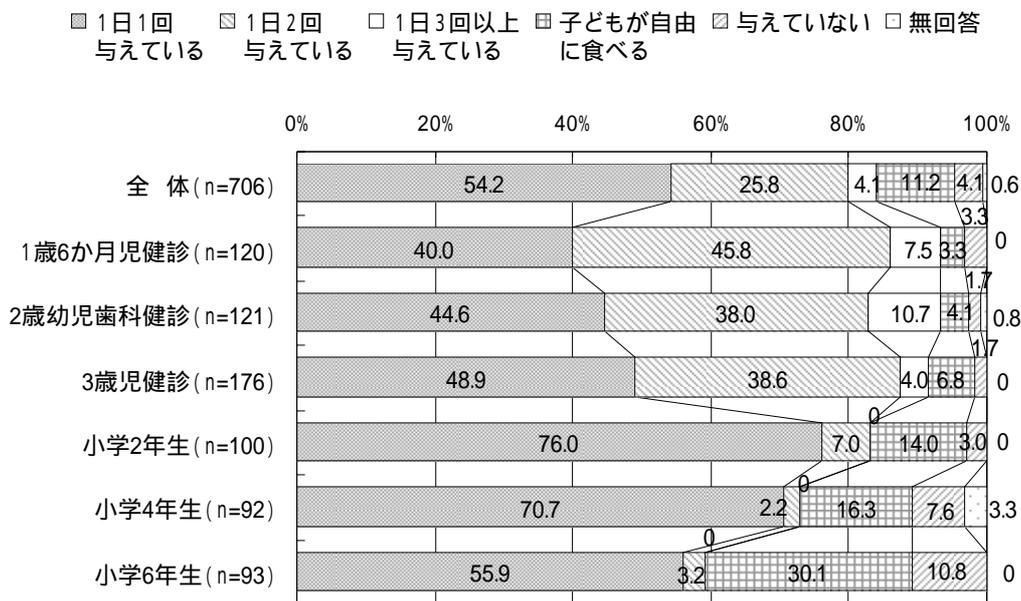
おやつについて

問6 おやつは与えていますか。

おやつの与え方は、「1日1回与えている」(54.2%)の割合が最も高く、次いで「1日2回与えている」(25.8%)、「子どもが自由に食べる」(11.2%) **であるとなっている**。

子どもの年齢別でみると、幼児にあたる層では「1日1回与えている」と「1日2回与えている」の合計が80%を超える。小学2年生では「1日1回与えている」が80.4% **であるとなっている**のに対し、「小学4年生」「小学6年生」では「子どもが自由に食べる」の割合が全体と比べて高くなる。

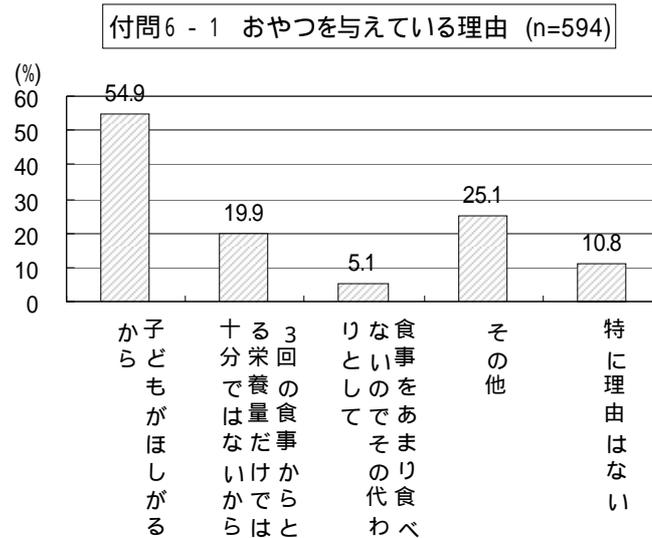
問6 おやつの与え方 / 子どもの年齢(学年)



付問6 - 1 (「1日1回~3回以上与えている」と回答した人のみ) おやつを与えている理由は何ですか。

問6でおやつを「1日1回~3回以上与えている」と回答した人について、おやつを与えている理由をたずねたところ、「子どもがほしががるから」(54.9%)の割合が最も高く、次いで「3回の食事からとる栄養量だけでは十分でないから」(19.9%)となっている。

子どもの年齢別でみると、「子どもがほしががるから」の割合が高いのは「2歳幼児歯科健診」「3歳児健診」、「3回の食事からとる栄養量だけでは十分でないから」の割合が高いのは「1歳6か月児健診」「2歳幼児歯科健診」「3歳児健診」の各層であるとなっている。



	子どもがほしががるから	3回の食事からとる栄養量は、食事からとるだけでは十分でないから	食事の代わり	その他	特に理由はない
全体 (n=594)	54.9	19.9	5.1	25.1	10.8
1歳6か月児健診(n=112)	46.4	31.3	9.8	19.6	14.3
2歳幼児歯科健診(n=113)	61.1	23.9	9.7	23.9	6.2
3歳児健診(n=161)	59.6	23.0	4.3	27.3	7.5
小学2年生(n=83)	53.0	10.8	-	28.9	10.8
小学4年生(n=67)	50.7	10.4	-	19.4	20.9
小学6年生(n=55)	56.4	3.6	1.8	32.7	10.9

付問6 - 2 (「1日1回~3回以上与えている」と回答した人のみ) 何に注意しておやつを与えていますか。

問6でおやつを「1日1回~3回以上与えている」と回答した人594人について、おやつを与えるときに注意していることをたずねたところ、「塩からいものは避ける」(37.0%)の割合が最も高く、次いで「脂肪の多いものは避ける」(30.6%)、「甘いものは避ける」(20.4%) となっている。

子どもの年齢別でみると、おおむね、幼児の保護者においては、塩からいものや甘いものを避け、果物やカルシウムの多いものを与えているが、小学生の保護者においては、これらの割合が低く、「注意していることは特にない」という回答割合が大きくなっている。



	塩からいものは避ける	脂肪の多いものは避ける	甘いものは避ける	果物を多く与える	カルシウムの多いものを与える	栄養のバランスに気をつける	なるべく手作りのものにする	その他	注意していることは特にない	無回答
全体 (n=594)	37.0	30.6	20.4	19.9	13.6	13.5	9.8	14.1	24.1	3.5
1歳6か月児健診 (n=112)	47.3	37.5	38.4	31.3	22.3	20.5	16.1	11.6	14.3	2.7
2歳幼児歯科健診 (n=113)	47.8	30.1	28.3	28.3	15.0	17.7	9.7	5.3	23.0	3.5
3歳児健診 (n=161)	38.5	31.7	18.6	14.3	13.0	11.8	8.1	16.8	26.7	2.5
小学2年生 (n=83)	31.3	25.3	13.3	14.5	12.0	10.8	9.6	24.1	16.9	4.8
小学4年生 (n=67)	17.9	25.4	6.0	13.4	7.5	6.0	7.5	10.4	38.8	6.0
小学6年生 (n=55)	23.6	29.1	1.8	10.9	5.5	7.3	5.5	18.2	32.7	3.6

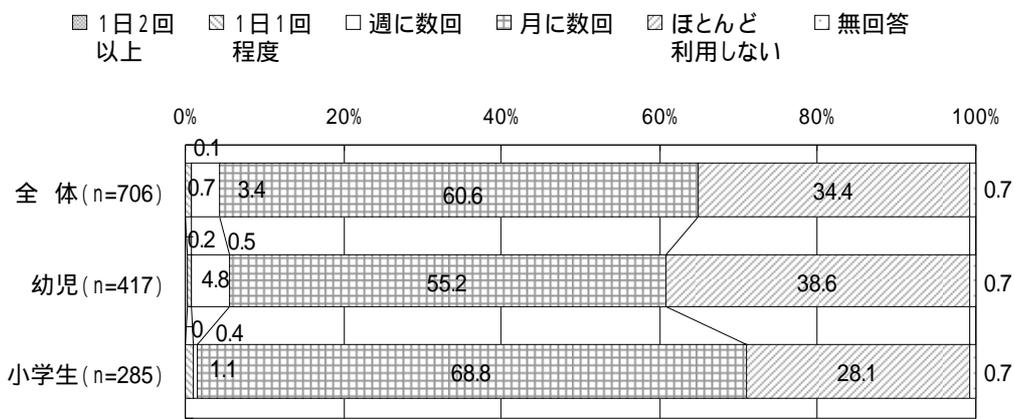
ファーストフードについて

問7 お子さんは、週にどのくらいハンバーガーやフライドチキンなどのファーストフードを食べますか。

子どものファーストフードの利用状況は、「月に数回」(60.6%)の割合が最も高く、次いで「ほとんど利用しない」(34.4%)であるとなっている。

幼児・小学生で比較すると、「月に数回」の割合が高いのは小学生、「ほとんど利用しない」の割合が高いのは幼児であるとなっている。

問7 子どものファーストフードの利用状況 / 幼児・小学生区分



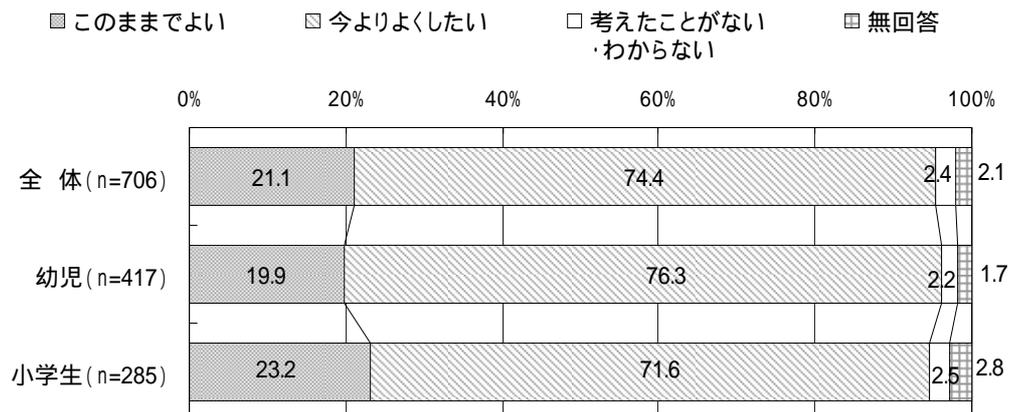
子どもの食生活の今後

問8 お子さんの食生活について、今後どうしたいと考えていますか。

子どもの今後の食生活についての考え方は、「今よりよくしたい」(74.4%)の割合が最も高く、次いで「このままでよい」(21.1%)であるとなっている。

幼児・小学生で比較すると、「今よりよくしたい」の割合が高いのは幼児、「このままでよい」の割合が高いのは小学生であるとなっている。

問8 子どもの今後の食生活について / 幼児・小学生区分

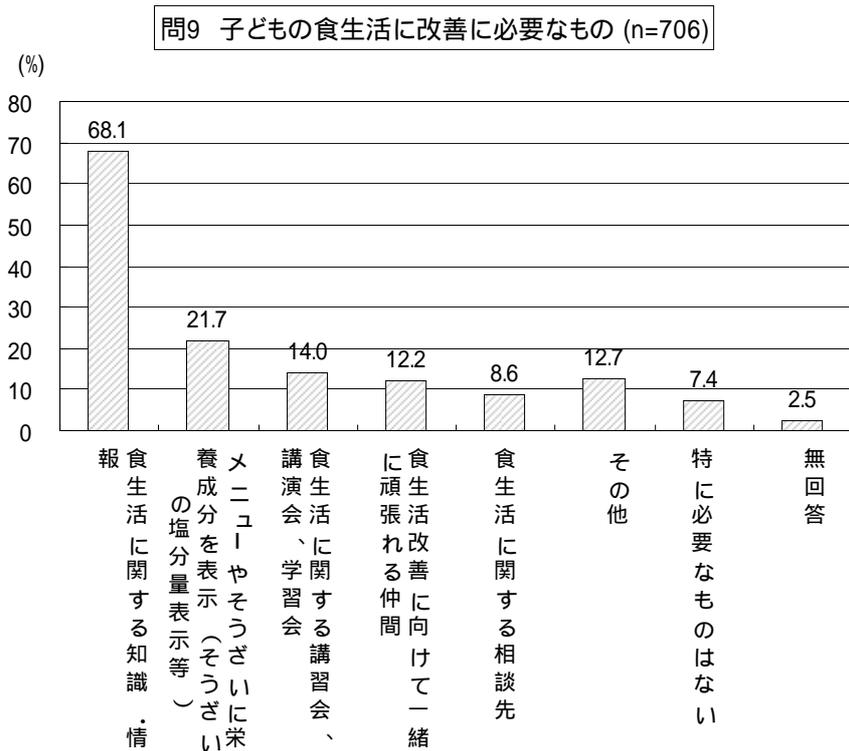


子どもの食生活をよりよくするために必要なこと

問9 今後、家族やお子さんの食生活をよりよくするためには、何が必要だと思いますか。

子どもの今後の食生活をよりよくするために必要なことは、「食生活に関する知識・情報」(68.1%)の割合が最も高く、次いで「メニューやそうざいに栄養成分を表示」(21.7%)、「食生活に関する講習会・講演会・学習会」(14.0%) **であるとなっている。**

幼児・小学生で比較すると、「食生活に関する相談先」の割合が小学生で低い。



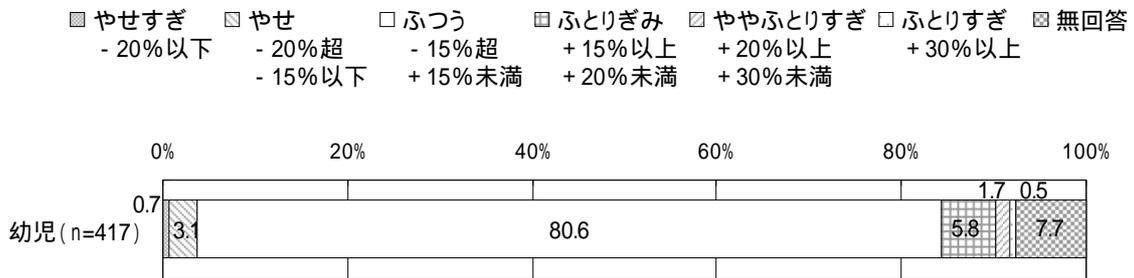
	食生活に関する知識・情報	メニューやそうざいに栄養成分を表示 (そうざいの塩分量表示等)	食生活に関する講習会・講演会・学習会	食生活改善に向けて一緒に頑張れる仲間	食生活に関する相談先	その他	特に必要なものはない	無回答
全体 (n=706)	68.1	21.7	14.0	12.2	8.6	12.7	7.4	2.5
幼児 (n=417)	70.3	21.3	16.5	15.3	12.0	12.5	5.8	1.9
小学生 (n=285)	65.3	22.5	10.5	7.7	3.9	12.6	9.8	3.5

肥満度

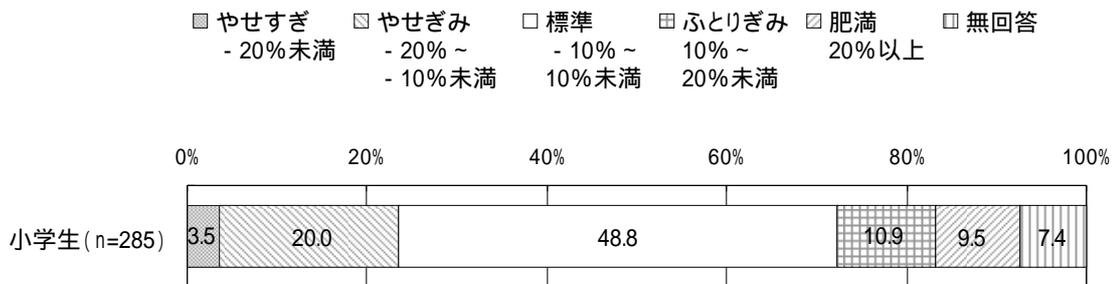
問10 お子さんのおよその身長、体重を整数で教えてください。(小数点以下は四捨五入してください)

子どもの身長・体重を回答してもらい、その数値から肥満度を算出した。
 幼児では、全体の80.6%が「ふつう」であり、やせている子は3.8%、肥満の子は8.0%となっている。
 小学生では、全体の48.8%が「標準」であり、肥満の子は9.5%であるとなっている。

問10 肥満度(幼児)



問10 肥満度(小学生)



* 肥満度の判定区分は、幼児については幼児の身長体重曲線に基づく判定区分、小学生については日比式を採用している。

4. 身体活動・運動について

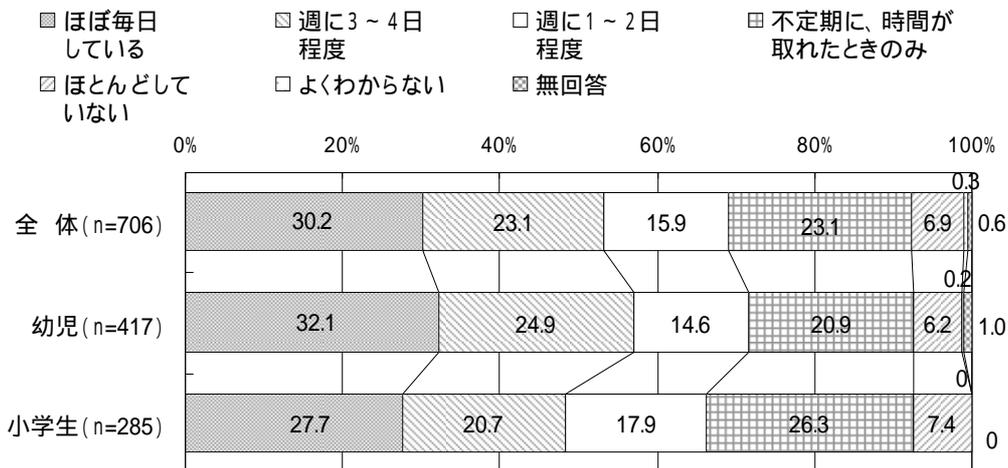
子どもの外遊びについて

問11 お子さんは、どのくらい外遊びをしますか。(保育園、幼稚園、学校などに通っている場合は、帰宅してからの時間の外遊び)

子どもの外遊びの頻度は、「ほぼ毎日している」(30.2%)の割合が最も高く、次いで「週に3～4日程度」(23.1%)、「不定期に、時間が取れたときのみ」(23.1%)、**「週に1～2日程度」(15.9%)** **であるとなっている。**

幼児・小学生で比較すると、定期的に外遊びをしている割合が、小学生では66.3%、幼児では71.6%となっている。

問11 子どもの外遊びの回数 / 幼児・小学生区分



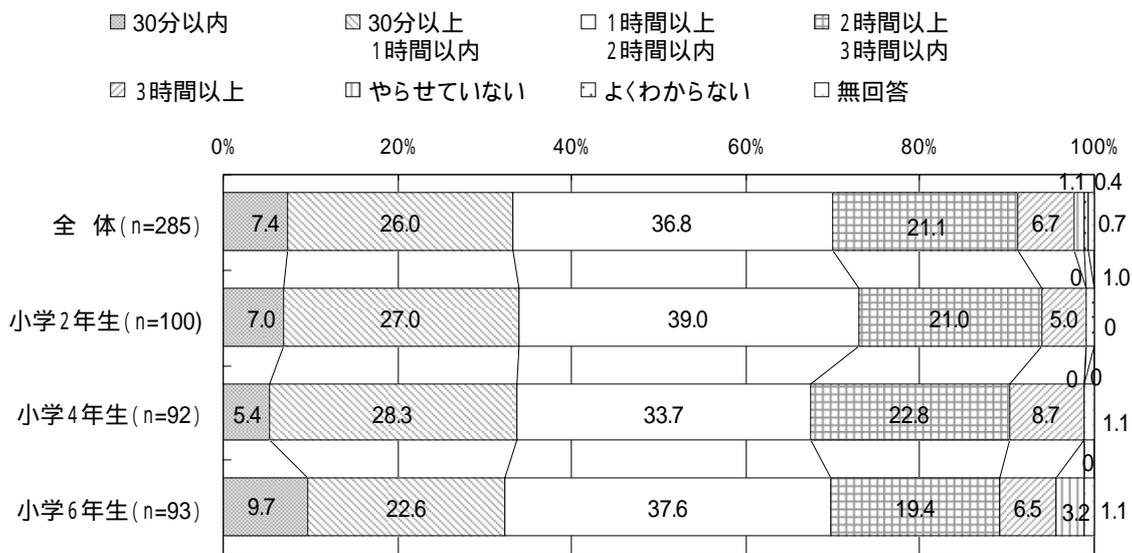
テレビゲーム等で遊ぶ時間

問12 (お子さんが小学生の場合のみ) 1日の中で、テレビゲームなどをしたり、テレビをみたり、インターネットで遊んでいる時間は平均してどのくらいですか。

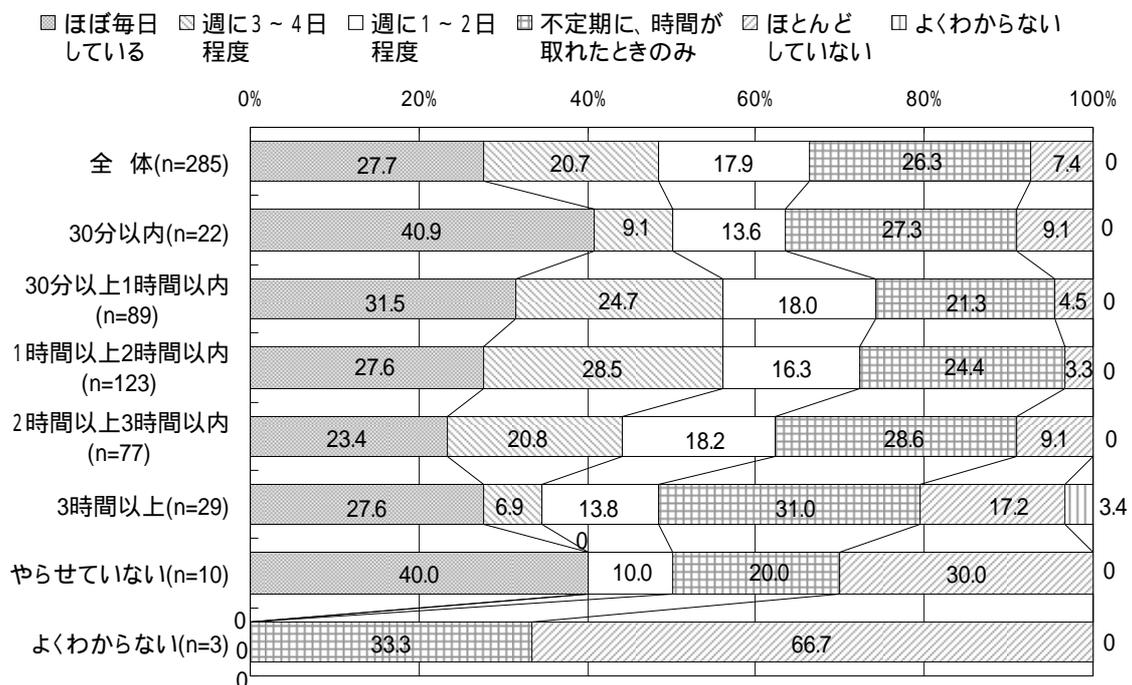
子ども(小学生)がテレビゲーム・テレビ視聴・インターネットをする時間は、「1時間以上2時間以内」(36.8%)の割合が最も高く、次いで「30分以上1時間以内」(26.0%)であるとなっている。

また、外遊びの時間との関係でみると、テレビゲーム等で遊ぶ時間が短い層ほど外遊びの回数が多い傾向がある。

問12 子どもがテレビゲーム・テレビ・インターネットで遊ぶ時間/子どもの学年



問11 子どもの外遊びの回数/問12 子どもがテレビゲーム・テレビ・インターネットで遊ぶ時間



5. 休養・こころの健康づくりについて

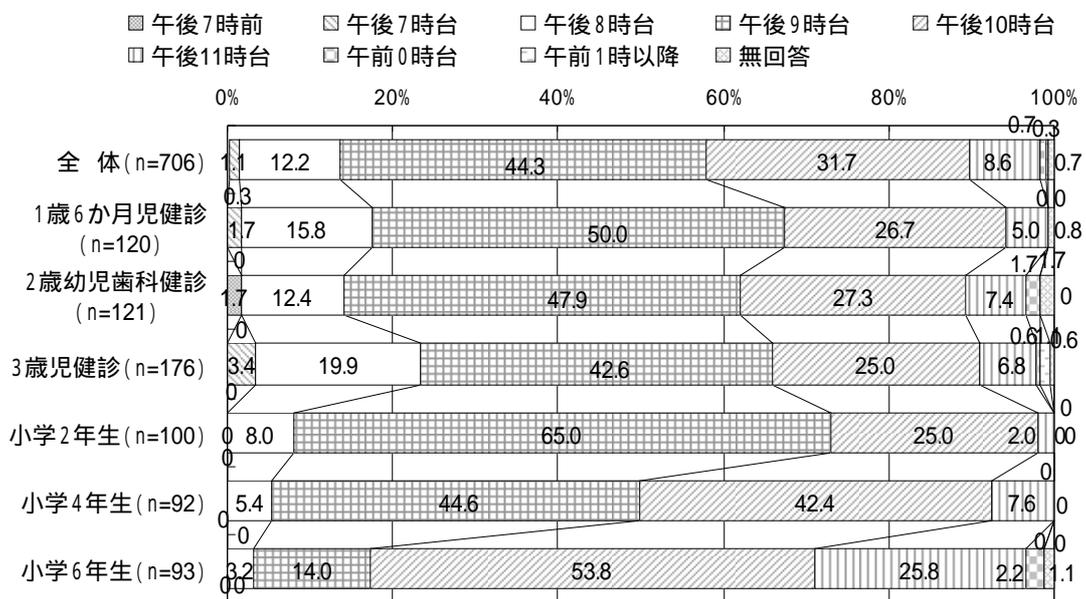
子どもの睡眠時間

問13 お子さんの就寝時間と起床時間を24時間表記でお答えください。

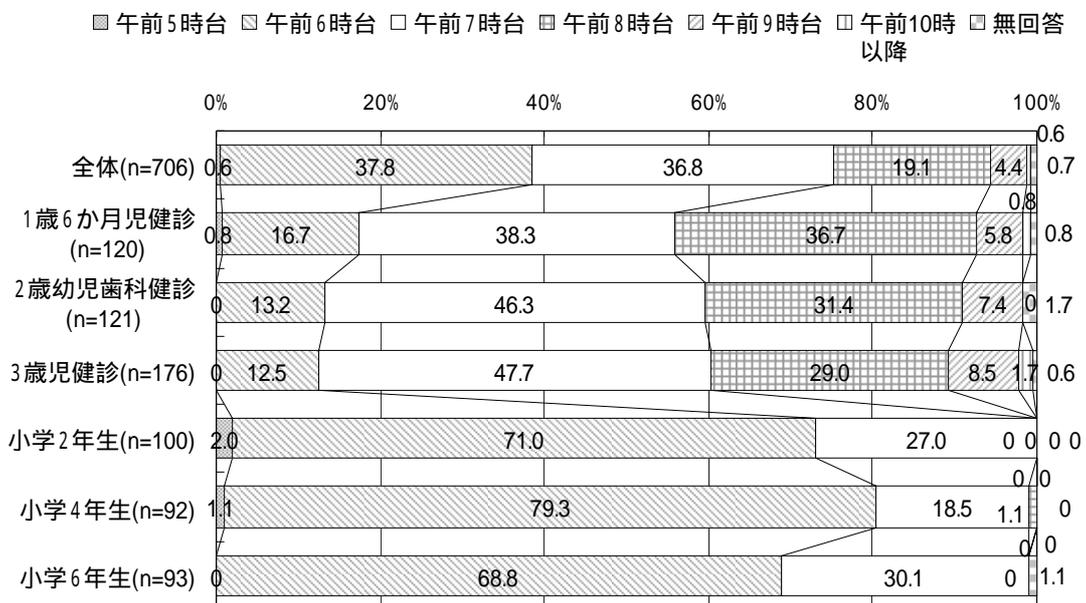
子どもの就寝時間をみると、幼児から小学2年生までは6, 7割が午後9時台までに就寝するが、小学4年生になると午後10時台になる子が増え、小学6年生になると81.8%が、午後10時以降に就寝すると回答している。**であるである**

起床時間では、幼児は午前7時台・8時台までに、小学生は午前7時までに起床している子が7, 8割となっている。

問13 子どもの就寝時間 / 子どもの年齢



問13 子どもの起床時間 / 子どもの年齢

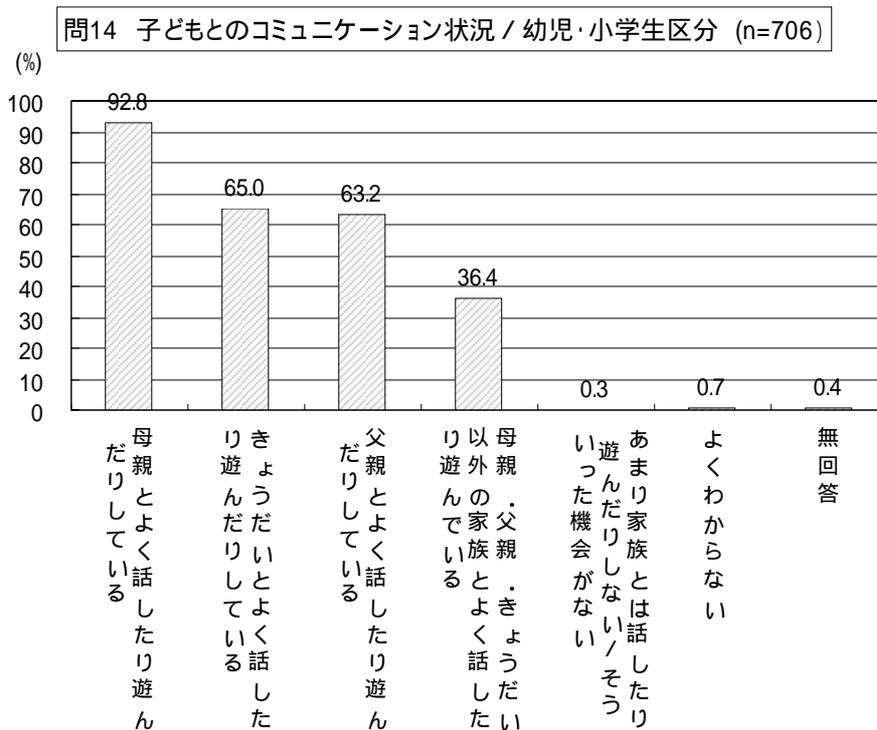


家族と子どものコミュニケーション

問14 あなたのご家族とお子さんのコミュニケーションの状況について、主に当てはまるものを選んでください。(お子さんからみた続柄でお答えください)

家族と子どものコミュニケーションで当てはまることは、「母親とよく話したり遊んだりしている」(92.8%)の割合が最も高く、次いで「きょうだいとよく話したり遊んだりしている」(65.0%)、「父親とよく話したり遊んだりしている」(63.2%) であるとなっている。

幼児・小学生で比較すると、幼児では「母親とよく話したり遊んだりしている」「父親とよく話したり遊んだりしている」の割合が高く、小学生では「きょうだいとよく話したり遊んだりしている」の割合が幼児に比べ高い。



	母親とよく話したり遊んだりしている	きょうだいとよく話したり遊んだりしている	父親とよく話したり遊んだりしている	母親・父親・きょうだい以外の家族とよく話したり遊んだりしている	いった機会がない	あまり家族とは話したり遊んだりしない/そう	よくわからない	無回答
全体 (n=706)	92.8	65.0	63.2	36.4	0.3	0.7	0.4	
幼児 (n=417)	95.7	57.1	67.9	45.3	0.2	0.5	0.5	
小学生 (n=285)	88.8	76.5	56.1	23.2	0.4	1.1	0.4	

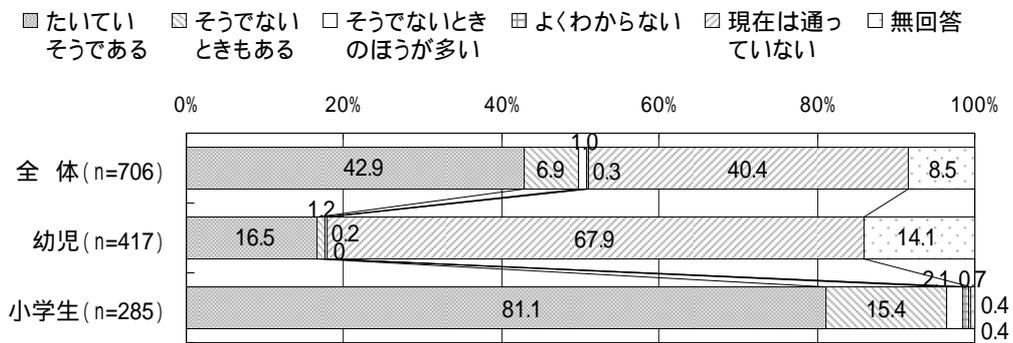
幼稚園・保育園・学校への通園・通学の様子

問15 お子さんは、幼稚園・保育園・学校に楽しそうに通っていますか。

幼稚園・保育園・学校に楽しそうに通っているかについては、「たいていそうであるとなっている」(42.9%)の割合が最も高く、次いで「現在は通っていない」(40.4%)、「そうでないときもある」(6.9%)
であるとなっている。

幼児・小学生で比較すると、幼児では「現在は通っていない」の割合が高く、小学生では「たいていそうであるとなっている」の割合が高い。

問15 幼稚園・保育園・学校に楽しそうに通っているか / 幼児・小学生区分



6. たばこについて

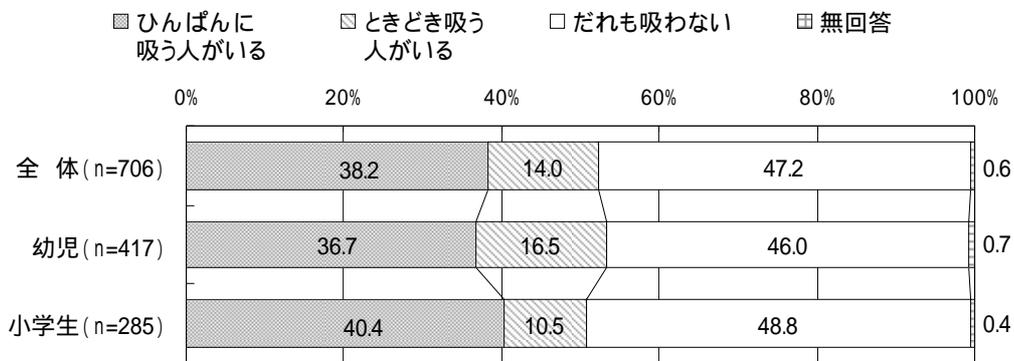
家族の喫煙

問16 家族の方は、たばこを吸いますか。

家族の喫煙については、「だれも吸わない」(47.2%)の割合が最も高く、次いで「ひんぱんに吸う人がいる」(38.2%)、「ときどき吸う人がいる」(14.0%) であるとなっている。

幼児・小学生で比較しても、大きな差はみられない。

問16 家族における喫煙者の有無 / 幼児・小学生区分

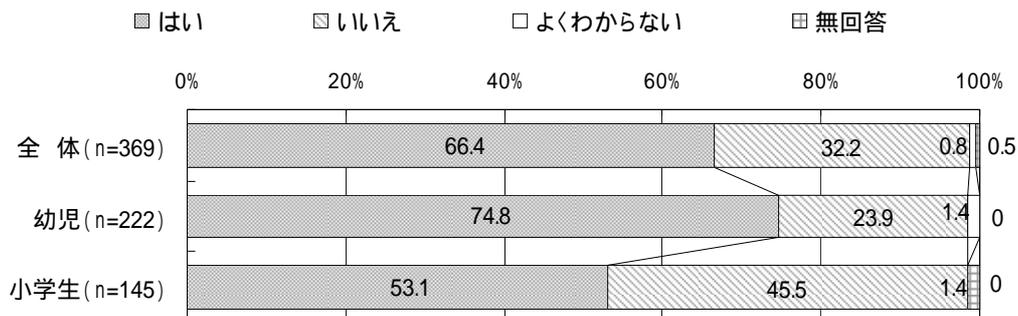


付問16-1 (問16で「ひんぱんに吸う人がいる」「ときどき吸う人がいる」家庭のみ) お子さんの前では吸わないようにしていますか。

子どもの前で吸わないようにしているかについては、「はい」が66.4%、「いいえ」が32.2% であるとなっている。

幼児・小学生で比較すると、「はい」の割合は幼児の家族で高い。

付問16-1 子どもの前で喫煙しないようにしているか / 幼児・小学生区分



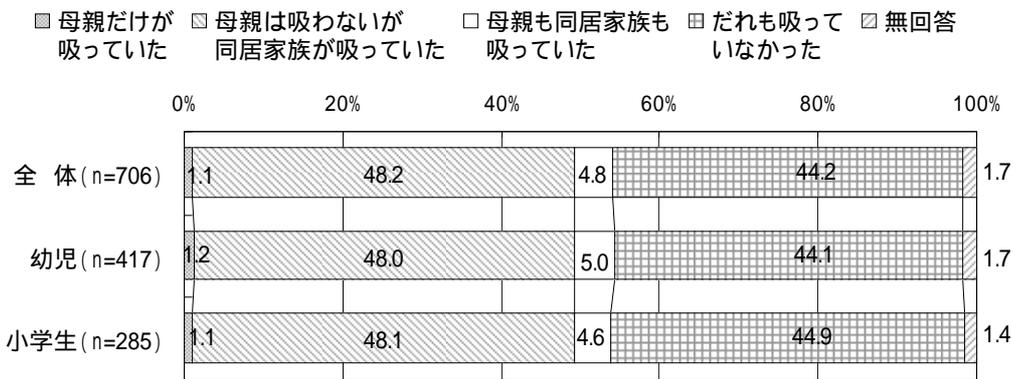
妊娠中の母親・家族の喫煙

問17 お子さんを妊娠していた期間、お母さんや同居家族はたばこを吸っていましたか。

妊娠中の母親・同居家族の喫煙状況については、「母親は吸わないが同居家族が吸っていた」(48.2%)の割合が最も高く、次いで「だれも吸っていなかった」(44.2%)が多い。妊娠中に母親が喫煙していた割合は、5.9%であるとなっている。

幼児・小学生で比較しても、大きな差はみられない。

問17 妊娠中の母親・同居家族の喫煙状況 / 幼児・小学生区分

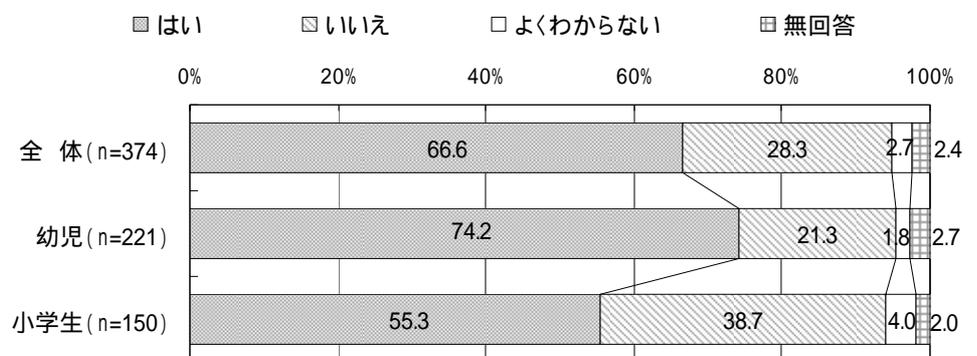


付問17-1 (問17で「吸っていた」同居家族がいた家庭のみ) 妊娠しているお母さんの前では吸わないようにしていましたか。

同居家族が妊娠中の母親の前で吸わないようにしていたかについては、「はい」が66.6%、「いいえ」が28.3%であるとなっている。

幼児・小学生で比較すると、「はい」の割合が高いのは幼児の家族、「いいえ」の割合が高いのは小学生の家族であるとなっている。

付問17-1 同居家族は妊娠中の母親の前で喫煙しないようにしていたか / 幼児・小学生区分

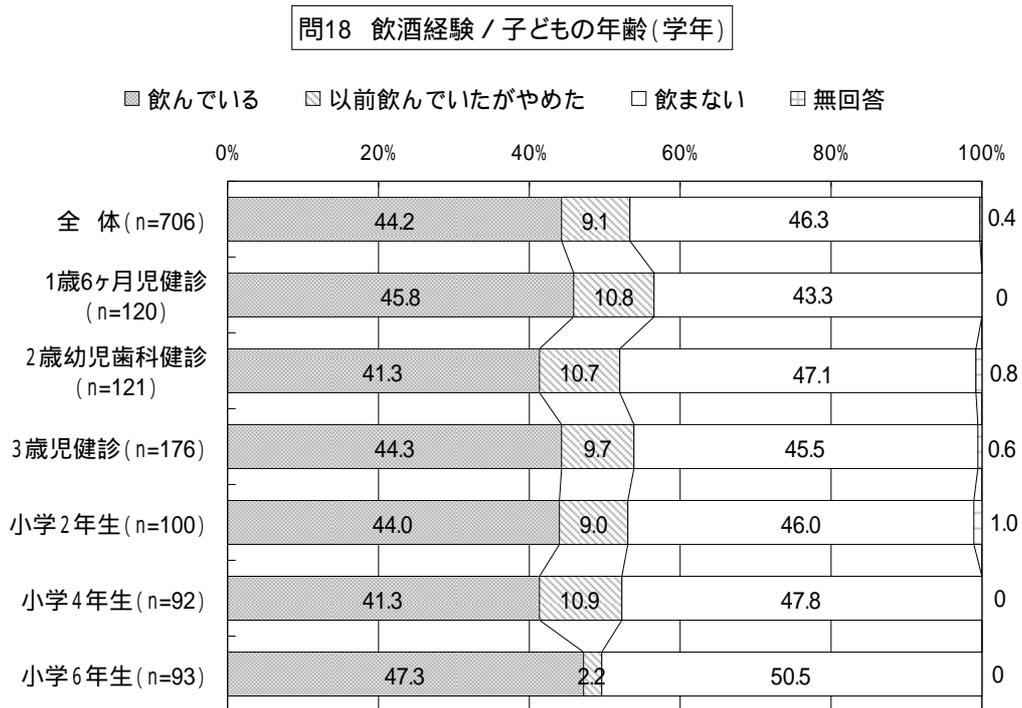


7. アルコールについて

記入者の飲酒

問18 あなたはアルコールを飲みますか。

記入者の飲酒については、「飲んでいる」(44.2%)、「以前飲んでいたがやめた」(9.1%)、「飲まない」(55.4%)
 であるとなっている。



妊娠中の飲酒

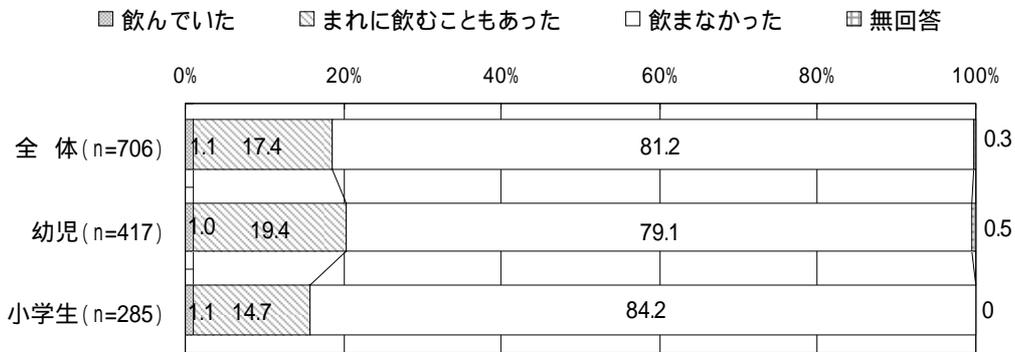
問19 お子さんを妊娠していた期間、お母さんはアルコールを飲んでいましたか。

妊娠中の母親の飲酒状況については、「飲まなかった」(81.2%)の割合が最も高く、次いで「まれに飲むこともあった」(17.4%)、「飲んでいた」(1.1%) であるとなっている。

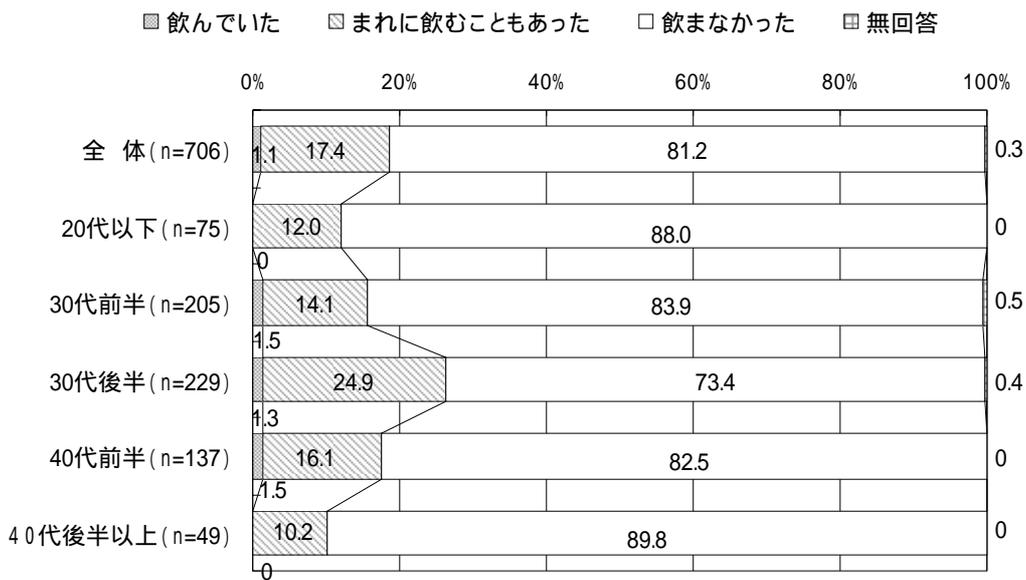
幼児・小学生で比較すると、「飲まなかった」の割合が高いのは小学生の母親、「まれに飲むこともあった」の割合が高いのは幼児の母親 であるとなっている。

記入者の年齢別でみると、「飲まなかった」の割合が高いのは「40代後半以上」、「まれに飲むこともあった」の割合が高いのは「30代後半」 であるとなっている。

問19 妊娠中の母親の飲酒状況 / 幼児・小学生区分



問19 妊娠中の母親の飲酒状況 / 記入者の年齢



子どもに飲酒をすすめた経験

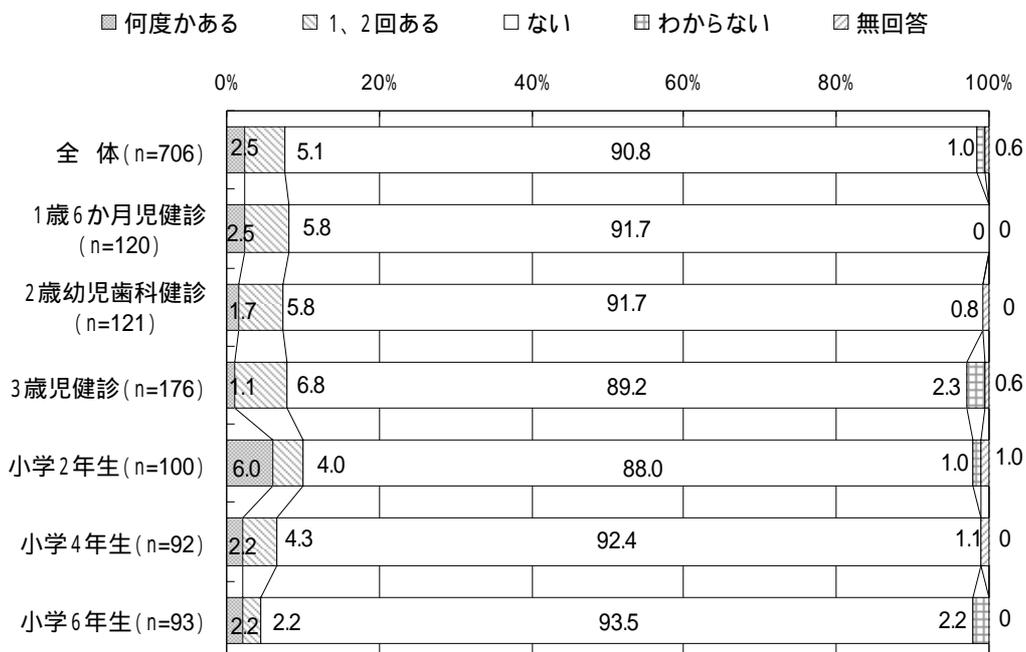
問 20 お子さんに対して、自分や家族、親せきなどがアルコールをすすめたり飲ませたりしたことはありますか。

子どもにアルコールをすすめた経験の有無は、「何度かある」「1、2回ある」の合計は、7.6%となっている。**である**

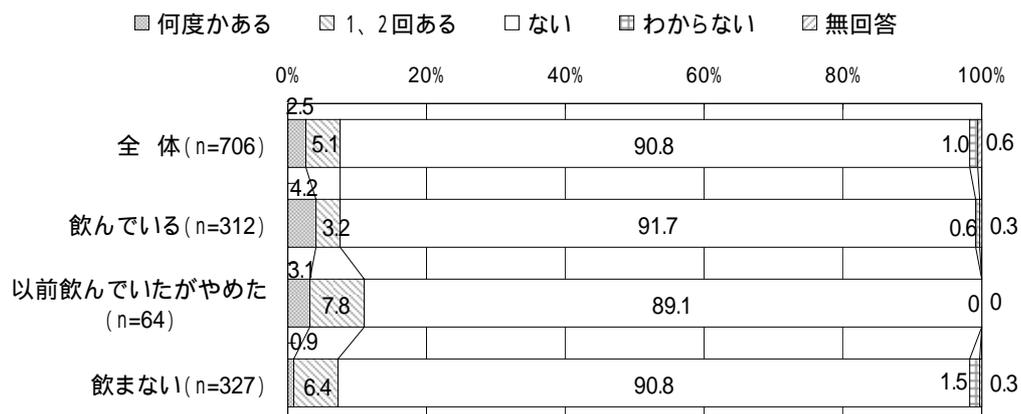
子どもの年齢別で比較しても、大きな差はみられない。

記入者の飲酒経験別で見ると、「以前飲んでしたがやめた」層で「何度かある」「1、2回ある」を合わせると10.9%、「飲んでいる」7.4%、「飲まない」7.3%となっている。

問20 子どもにアルコールをすすめた経験の有無(本人・家族・親せき) / 子どもの年齢



問20 子どもにアルコールをすすめた経験の有無(本人・家族・親せき) / 記入者の飲酒経験



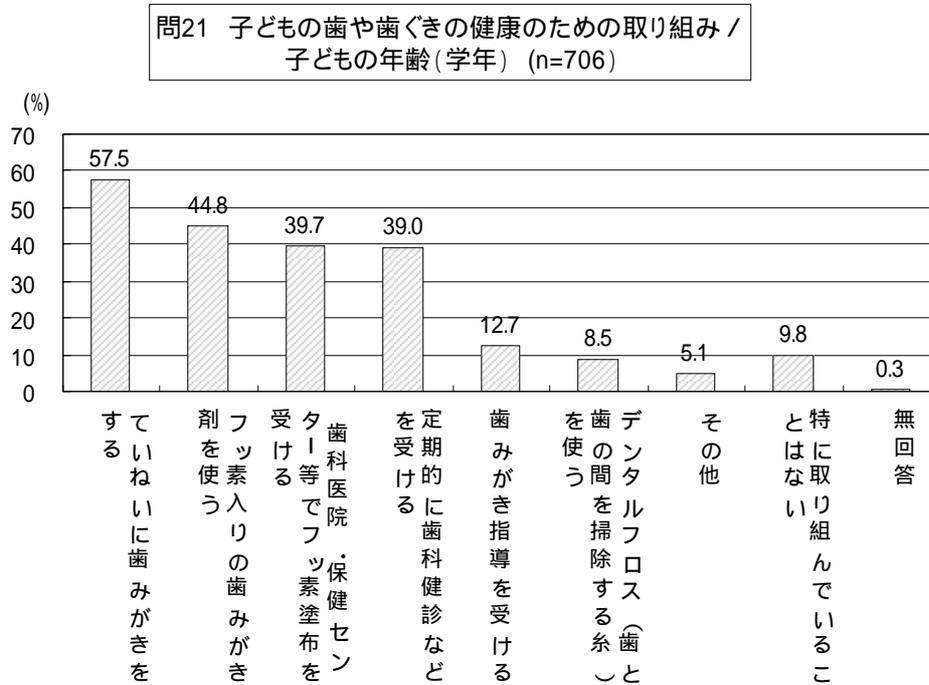
8. 歯の健康について

歯の健康のための取り組み

問21 ふだん、お子さんの歯や歯ぐきの健康のために、どのようなことに取り組んでいますか。

子どもの歯や歯ぐきの健康のために取り組んでいることについては、「ていねいに歯みがきをする」(57.5%)の割合が最も高く、次いで「フッ素入りの歯みがき剤を使う」(44.8%)、「歯科医院・保健センター等でフッ素塗布を受ける」(39.7%)であるとなっている。

子どもの年齢別でみると、「ていねいに歯みがきをする」の割合が高いのは「3歳児健診」「2歳幼児歯科健診」「1歳6か月児健診」の層、「フッ素入りの歯みがき剤を使う」の割合が高いのは「3歳児健診」の層、「定期的に歯科健診などを受ける」の割合が高いのは「3歳児健診」「小学4年生」「小学6年生」の層であるとなっている。



	ていねいに歯みがきをする	フッ素入りの歯みがき剤を使う	歯科医院・保健センター等でフッ素塗布を受ける	定期的に歯科健診などを受ける	歯みがき指導を受ける	デンタルフロス(歯と歯の間を掃除する糸)を使う	その他	特にはない	無回答
全体 (n=706)	57.5	44.8	39.7	39.0	12.7	8.5	5.1	9.8	0.3
1歳6か月児健診(n=120)	65.0	26.7	17.5	19.2	17.5	2.5	5.0	13.3	-
2歳幼児歯科健診(n=121)	65.3	41.3	66.1	35.5	16.5	5.0	6.6	2.5	-
3歳児健診(n=176)	68.8	66.5	63.1	48.9	13.1	14.2	5.7	1.1	-
小学2年生(n=100)	44.0	45.0	17.0	38.0	6.0	8.0	4.0	18.0	2.0
小学4年生(n=92)	48.9	42.4	27.2	46.7	8.7	12.0	4.3	13.0	-
小学6年生(n=93)	40.9	34.4	25.8	43.0	12.9	7.5	3.2	18.3	-

9. 子育てについて

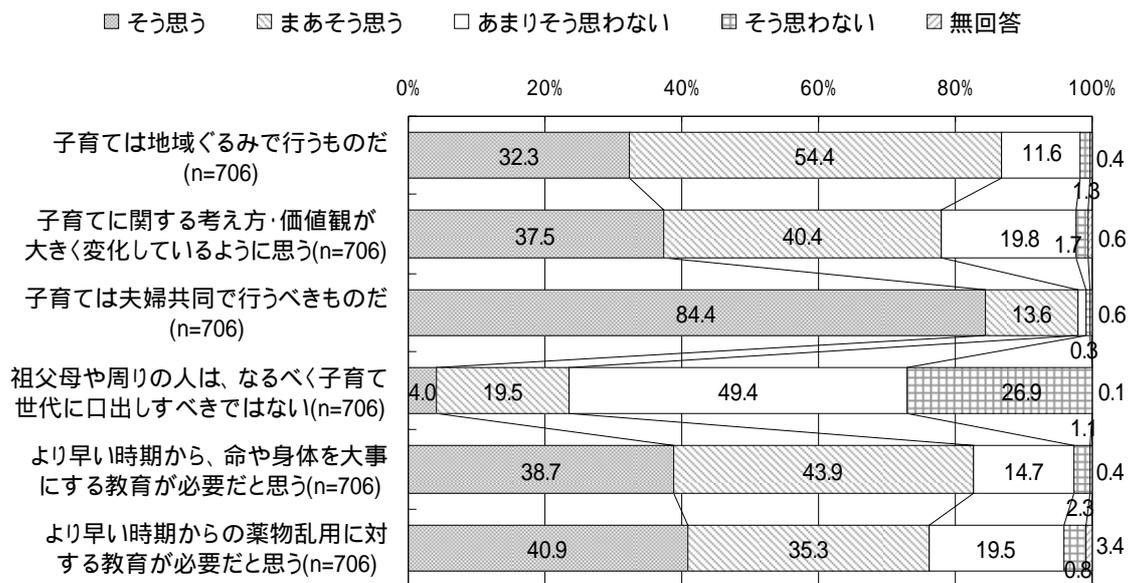
子育てに関する考え方

問22 以下のそれぞれの意見について、あなたの考えにもっとも近い番号を選んでください。

子育てについての考えをみると、「子育ては夫婦共同で行うものだ」については、84.4%の人が「そう思う」と強く肯定しており、「あまりそう思わない」「そう思わない」という人はほとんどみられない。

「子育ては地域ぐるみで行うものだ」「ここ数年、子育てに関する考え方・価値観が大きく変化しているように思う」「より早い時期から、自分と他人の命や身体を大事にする教育(性教育を含む)が必要だと思う」「より早い時期からの薬物乱用に対する教育が必要だと思う」については、いずれも7~8割以上の人が「そう思う」または「まあそう思う」と回答している。「祖父母や周りの人は、なるべく子育て世代に口出しすべきではない」については、肯定的な考えの人(23.5%)を否定的な考えの人(76.3%)が上回っている。

問22 子育てについての考え



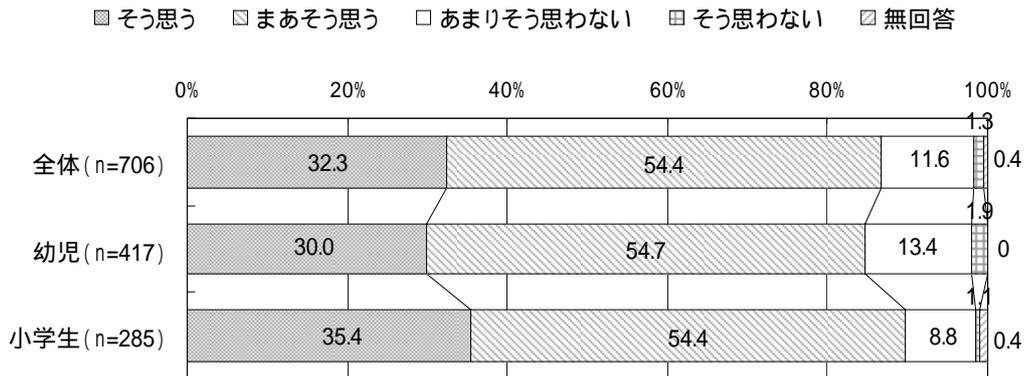
子育ては地域ぐるみで行うものだ

「子育ては地域ぐるみで行うものだ」は、「まあそう思う」(54.4%)の割合が最も高く、次いで「そう思う」(32.3%)、「あまりそう思わない」(11.6%) **であるとなっている。**

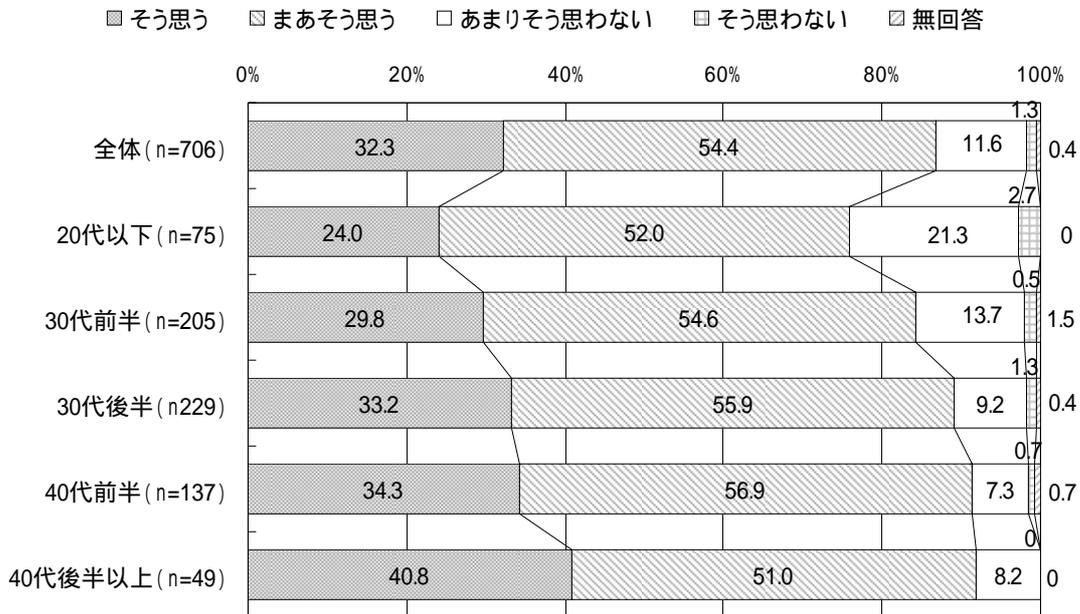
幼児・小学生と比較すると、小学生で「そう思う」の割合がやや高い。

記入者の年齢別でみると、「40代後半以上」で「そう思う」の割合が高く、「20代以下」「30代前半」で「あまりそう思わない」の割合が高い。

問22 子育ては地域ぐるみで行うものだ / 幼児・小学生区分



問22 子育てについての考え 子育ては地域ぐるみで行うものだ / 記入者の年齢



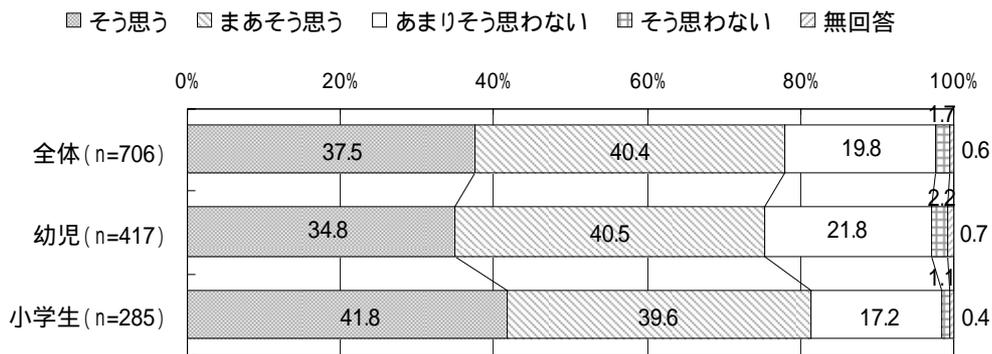
ここ数年、子育てに関する考え方・価値観が大きく変化してきているように思う

「ここ数年、子育てに関する考え方・価値観が変化している」は、「まあそう思う」(40.4%)の割合が高く、次いで「そう思う」(37.5%)、「あまりそう思わない」(19.8%) **であるとなっている。**

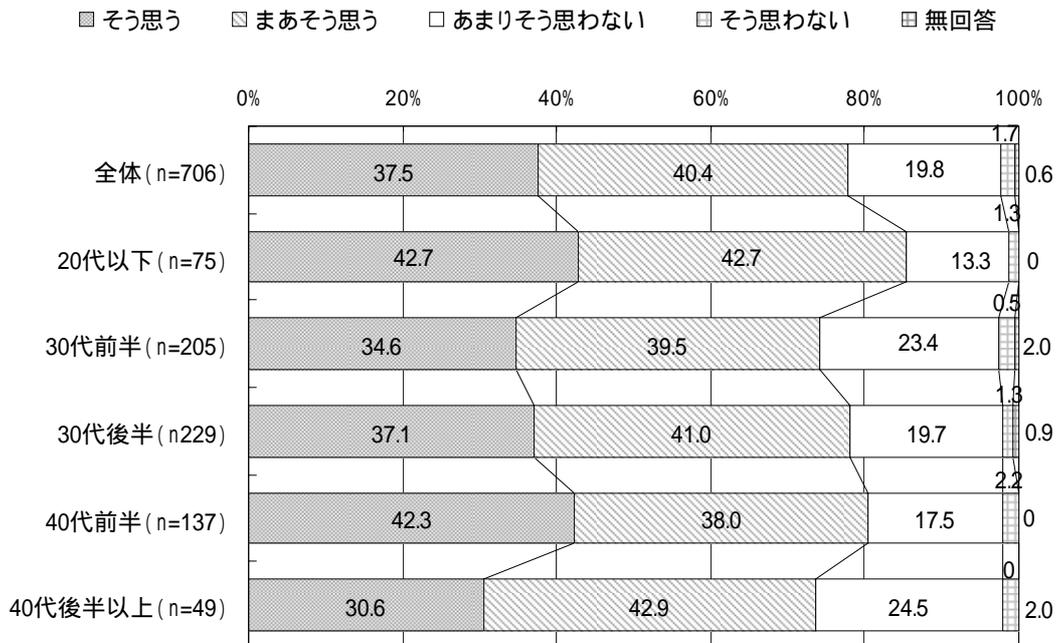
幼児・小学生で比較すると、小学生で「そう思う」「まあそう思う」の合計の割合が高い。

記入者の年齢別でみると、「20代以下」「40代前半」で「そう思う」の割合が高く、「40代後半以上」「30代前半」で「あまりそう思わない」の割合が高い。

問22 ここ数年、子育てに関する考え方・価値観が変化している / 幼児・小学生区分



問22 ここ数年、子育てに関する考え方・価値観が変化している / 記入者の年齢

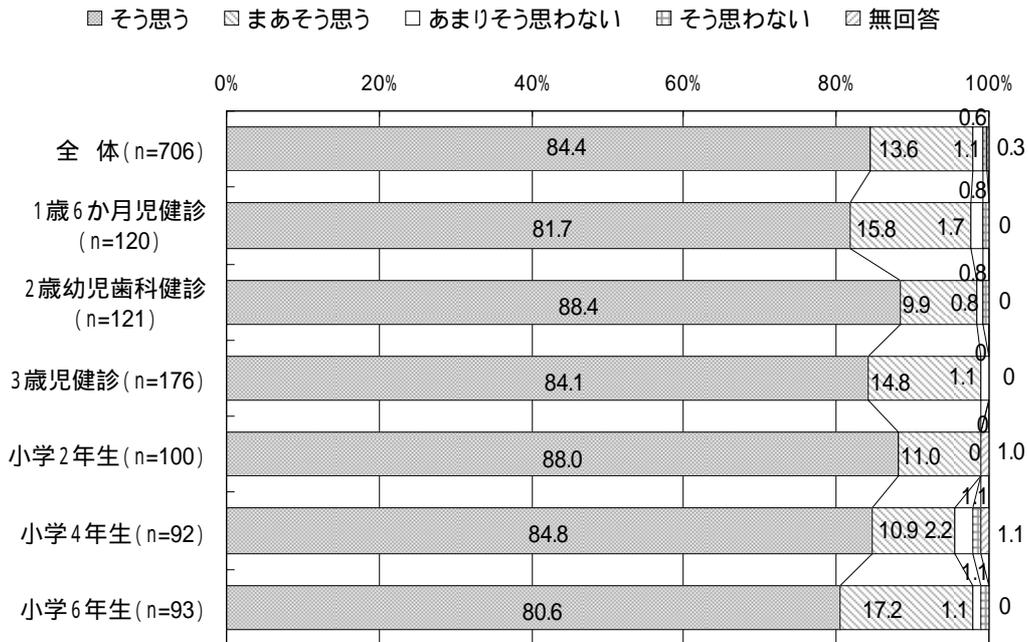


子育ては夫婦共同で行うべきものだ

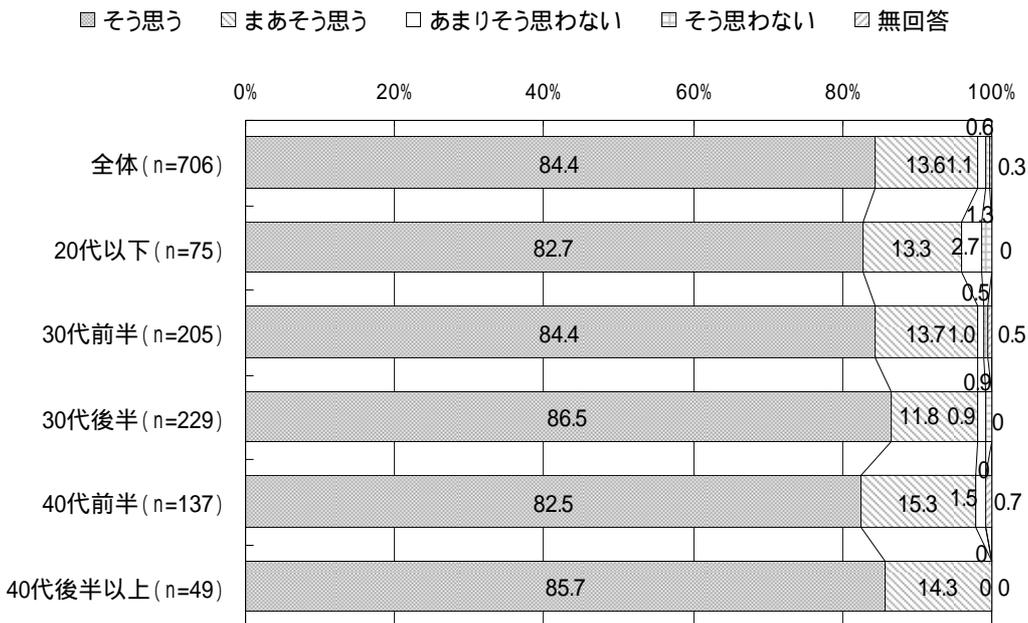
「子育ては夫婦共同で行うべきものだ」は、「そう思う」(84.4%)の割合が高く、次いで「まあそう思う」(13.6%)であるとなっている。

幼児・小学生で比較すると、「2歳幼児歯科健診」「小学2年生」の層で「そう思う」の割合が高い。記入者の年齢別では、大きな差はみられない

問22 子育ては夫婦共同で行うべきものだ / 子どもの年齢(学年)



問22 子育ては夫婦共同で行うべきものだ / 記入者の年齢



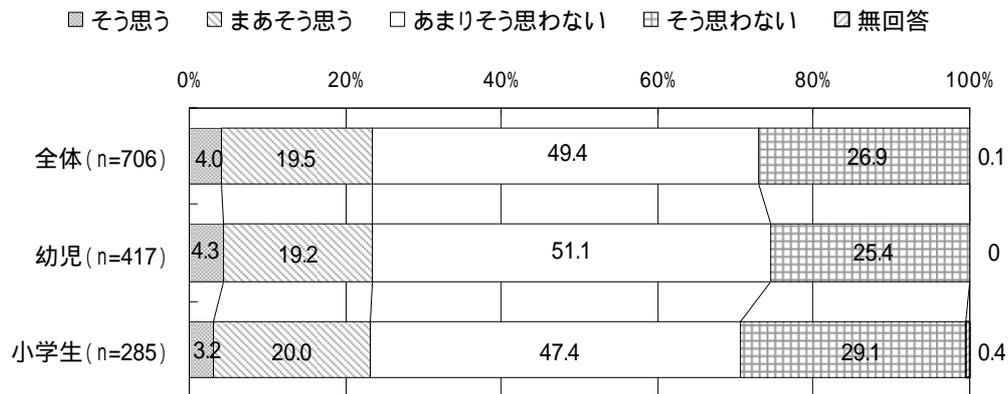
祖父母や周りの人は、なるべく子育て世代に口出しすべきではない

「祖父母や周りの人は、なるべく子育て世代に口出しすべきではない」は、「あまりそう思わない」(49.4%)の割合が最も高く、「そう思わない」(26.9%)、「まあそう思う」(19.5%)であるとなっている。

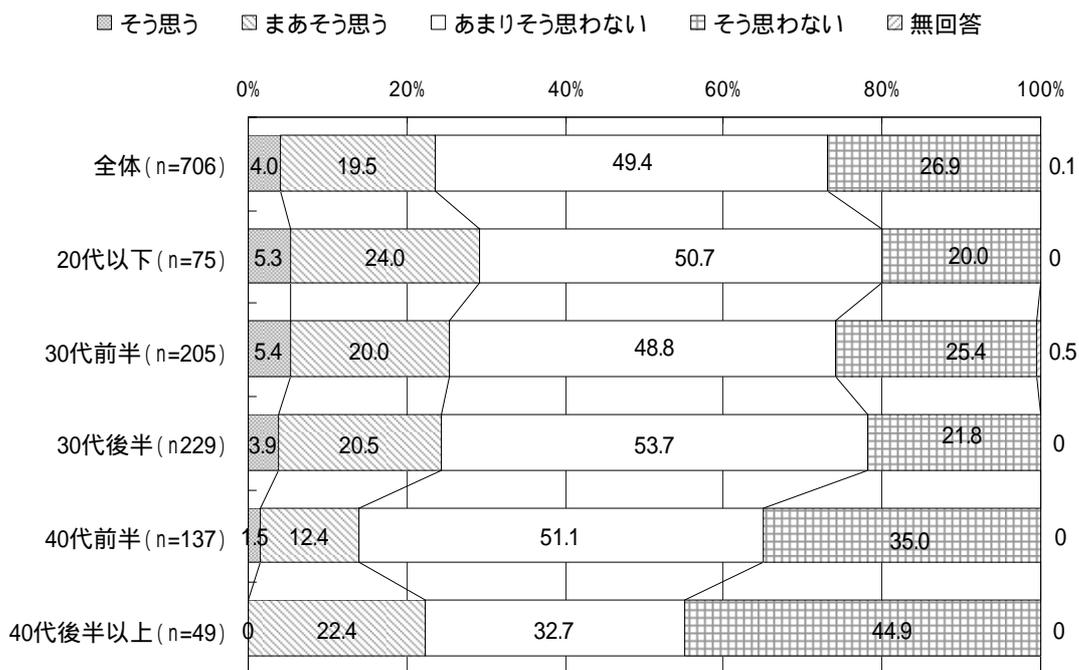
幼児・小学生で比較すると、小学生で「そう思わない」の割合が高い。

記入者の年齢別でみると、「40代前半」で「あまりそう思わない」「そう思わない」の合計の割合が高い。

問22 祖父母等はなるべく子育て世代に口出しすべきでない / 幼児・小学生区分



問22 祖父母等はなるべく子育て世代に口出しすべきでない / 記入者の年齢



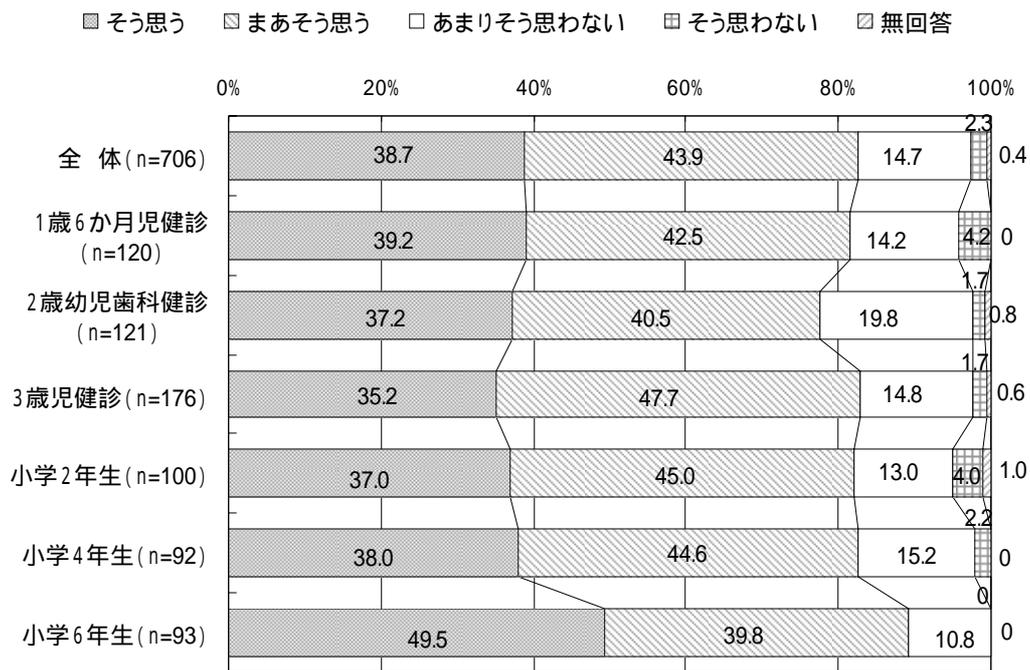
より早い時期から、自分と他人の命や身体を大事にする教育（性教育を含む）が必要だと思う

「より早い時期から命や身体を大切にすることが必要」は、「まあそう思う」（43.9%）の割合が最も高く、次いで「そう思う」（38.7%）、「あまりそう思わない」（14.7%）であるとなっている。

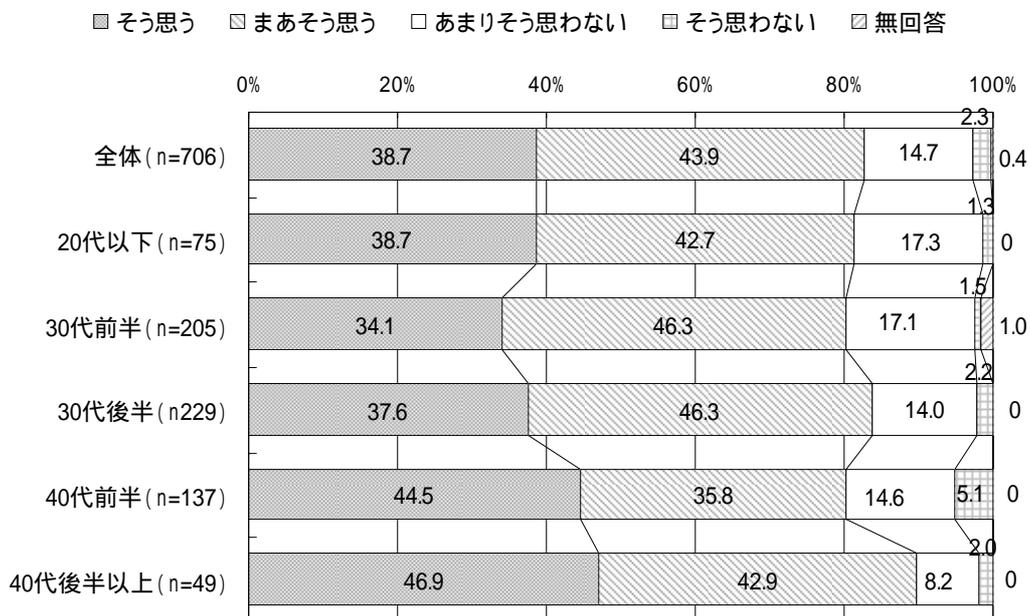
幼児・小学生で比較すると、「小学6年生」の層で「そう思う」の割合が高い。

記入者の年齢別でみると、「40代後半以上」で「そう思う」の割合が高く、「20代以下」「30代前半」で「あまりそう思わない」の割合が高い。

問22 より早い時期から命や体を大切にすることが必要 / 子どもの年齢(学年)



問22 より早い時期から命や身体を大切にすることが必要 / 記入者の年齢

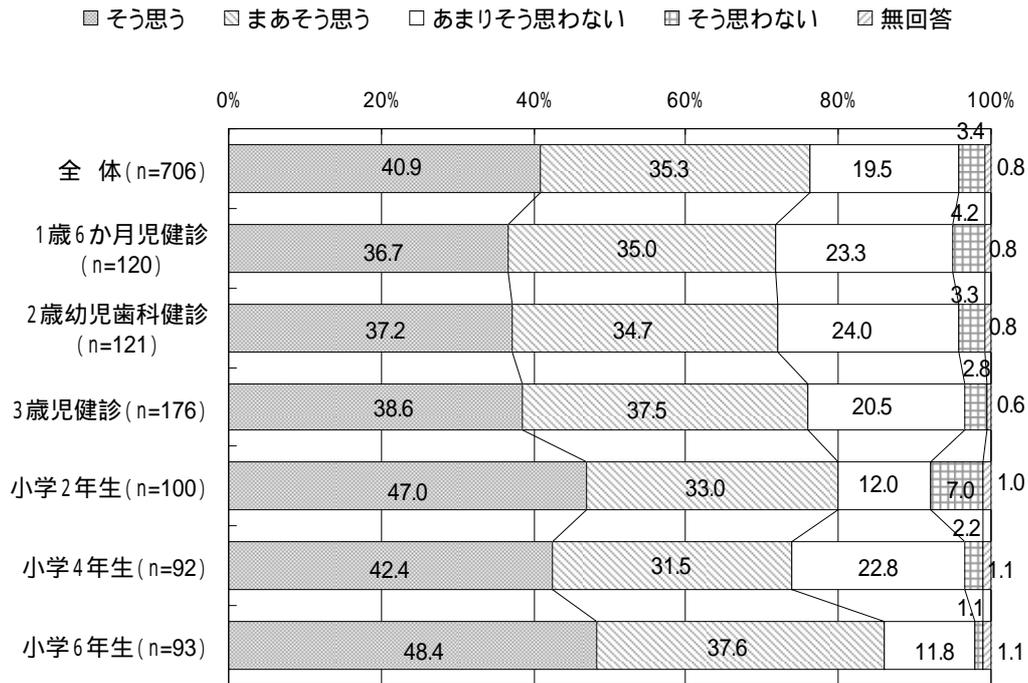


より早い時期からの薬物乱用に対する教育が必要だと思う

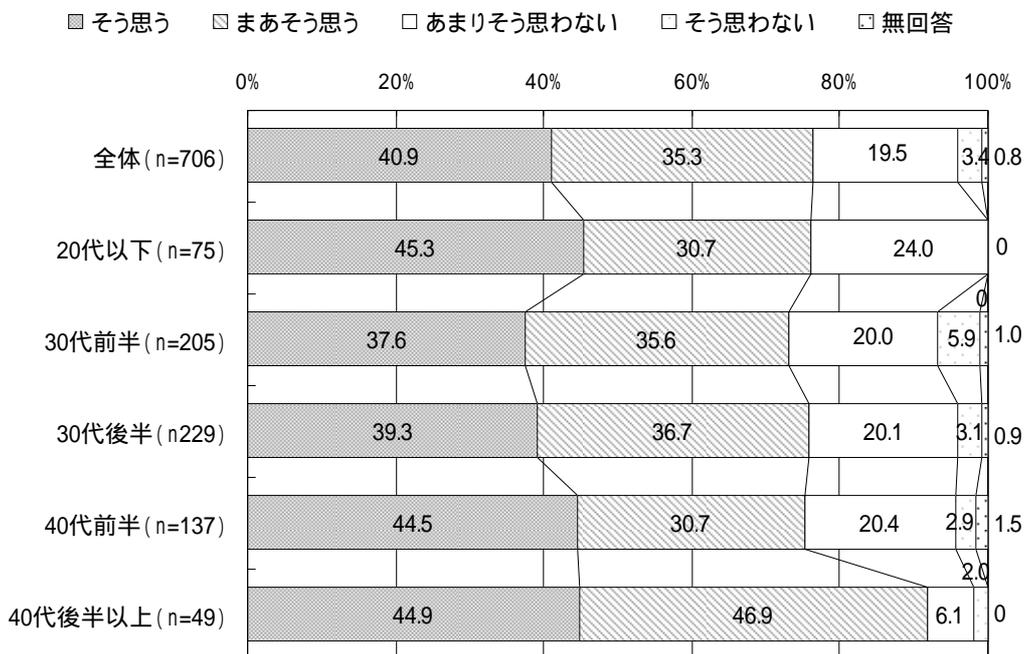
「より早い時期から薬物乱用に対する教育が必要」は、「**そう思う**」(40.9%)の割合が最も高く、次いで「**まあそう思う**」(35.3%)、「**あまりそう思わない**」(19.5%) **であるとなっている**。

子どもの年齢別でみると、「**小学6年生**」の層で「**そう思う**」「**まあそう思う**」の合計の割合が高い。記入者に年齢別でみると、「**40代後半以上**」で「**そう思う**」「**まあそう思う**」の合計の割合が高い。

問22 より早い時期からの薬物乱用に対する教育が必要 / 子どもの年齢(学年)



問22 より早い時期からの薬物乱用に対する教育が必要 / 記入者の年齢

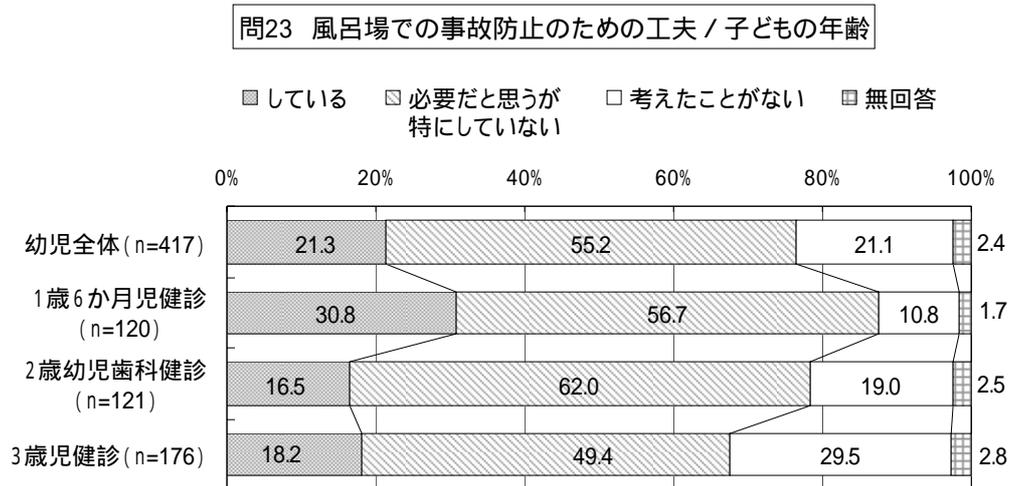


風呂場の事故防止

問 23 (お子さんが幼児の場合のみ) あなたの家庭では、風呂場の事故防止のためにお子さんがドアを開けられないようにロックをするなどの工夫をしていますか。

風呂場の事故防止のための工夫については、「必要だと思うが特にしていない」(55.2%)の割合が最も高く、次いで「している」(21.3%)、「考えたことがない」(21.1%) であるとなっている。

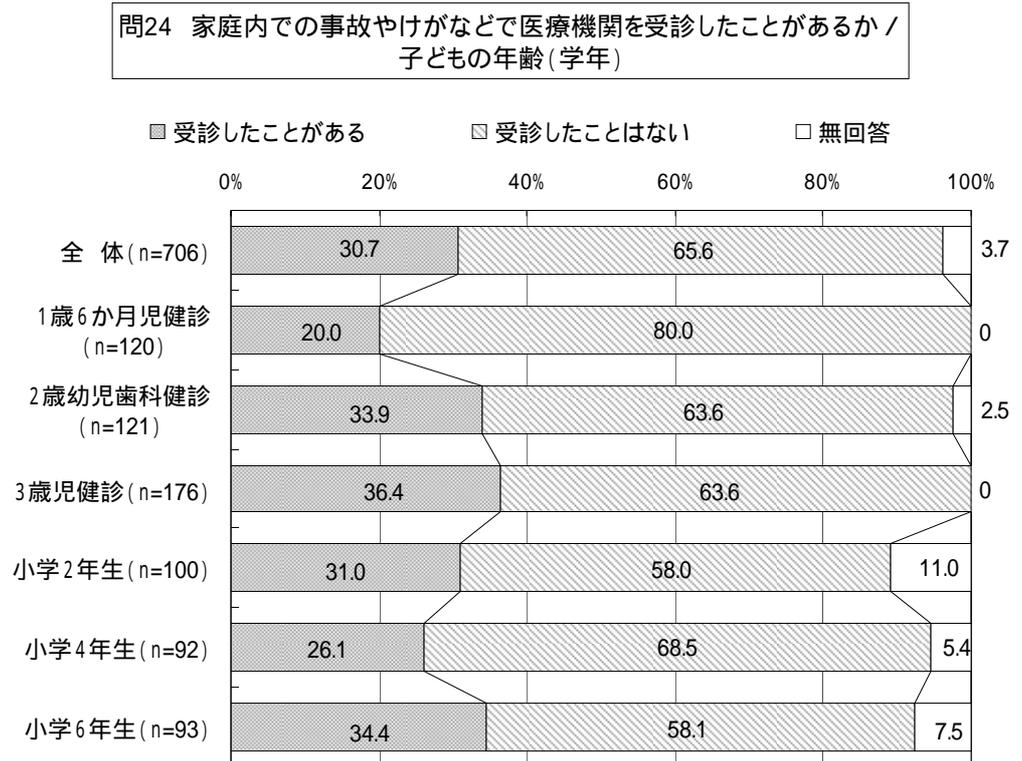
子どもの年齢別でみると、「している」の割合が「1歳6か月児健診」では、30.8%だが「2歳幼児歯科健診」「3歳児健診」では、2割以下になっている。いずれの年齢層でも「必要だと思うが特にしていない」「考えたことがない」の割合の合計が65%以上を占めている。



家庭内の事故

問 24 お子さんは今までに、家庭内での事故やけがなどで医療機関を受診したことはありますか。(受診しても何も治療を受けなかった場合も含まれます)

家庭内の事故やけがによる医療機関の受診については、「受診したことはない」が65.6%、「受診したことがある」が30.7% であるとなっている。



過去に起こった家庭内の事故

問24で「はい」と答えた方のみ、以下、過去に起こった主な家庭内での事故やけがについて、3つまでお答えください。

問24-1 過去に起こった主な家庭内での事故やけがについて、教えてください。

家庭内で事故やけががあった年齢をみると、「1歳(37.6%)」の割合が最も高く、次いで「2歳(24.9%)」「3歳(15.6%)」であるとなっている。

事故が起きた時間帯については、「午後」が50.2%、「午前」が32.7%であるとなっている。

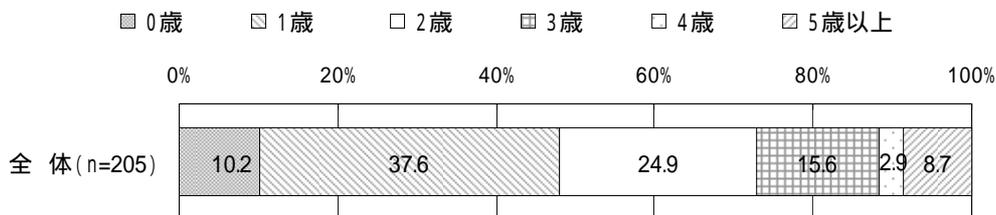
事故が起きたところについては、「居間(45.6%)」の割合が最も高く、次いで「階段(12.9%)」「寝室(11.5%)」であるとなっている。

けが等の内容については、「刺傷・切り傷(33.2%)」の割合が最も高く、次いで「すり傷・打ち身(30.4%)」「やけど(15.7%)」であるとなっている。

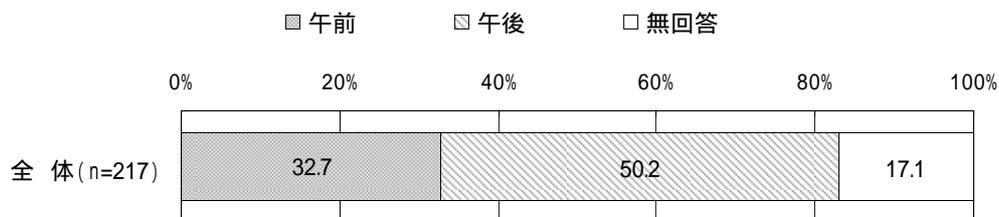
治療方法については、「その日で治療が終わった(46.1%)」の割合が最も高く、次いで「通院した(35.5%)」「治療をしなかった(16.1%)」であるとなっている。

「事故の内容」に各項目については件数ベースで集計し、無回答だったものは集計から除外している。したがって、各項目でサンプル数が異なる。また「事故があった年齢」別での集計は「事故があった年齢」が無回答だったものは除外されている。

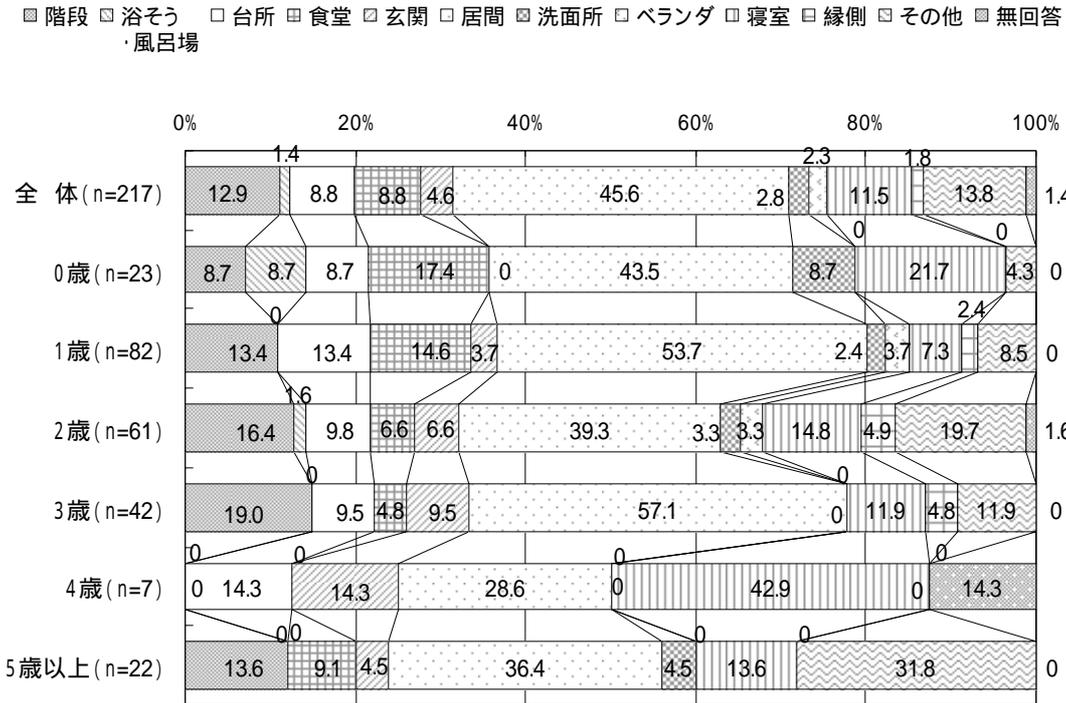
付問24-1 事故があった年齢(件数ベース)



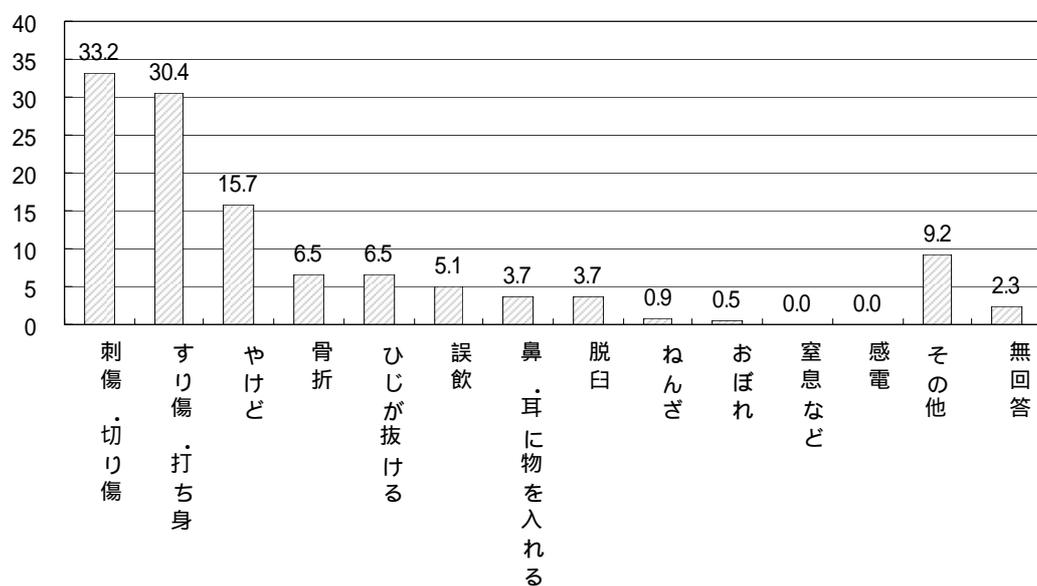
付問24-1 事故があった時間帯(件数ベース)



付問24-1 事故がおきたところ(件数ベース) / 事故があった年齢

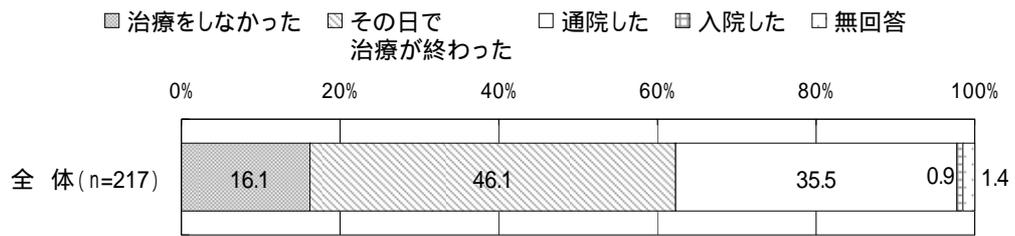


付問24-1 けが等の内容(件数ベース) / 事故があった年齢 (n=217)



	刺傷・切り傷	すり傷・打ち身	やけど	骨折	ひじが抜ける	誤飲	鼻・耳に物を入れる	脱臼	ねんざ	おぼれ	窒息など	感電	その他	無回答
全体 (n=217)	33.2	30.4	15.7	6.5	6.5	5.1	3.7	3.7	0.9	0.5	0	0	9.2	2.3
0歳 (n=23)	13.0	26.1	21.7	8.7	4.3	8.7	0	4.3	0	4.3	0	0	21.7	4.3
1歳 (n=82)	29.3	39.0	23.2	3.7	3.7	8.5	2.4	2.4	1.2	0	0	0	8.5	0
2歳 (n=61)	44.3	27.9	14.8	6.6	11.5	4.9	8.2	4.9	0	0	0	0	8.2	3.3
3歳 (n=42)	57.1	28.6	14.3	2.4	7.1	2.4	2.4	2.4	0	0	0	0	9.5	2.4
4歳 (n=7)	14.3	28.6	42.9	14.3	0	0	0	28.6	0	0	0	0	0	0
5歳以上 (n=22)	36.4	18.2	9.1	18.2	0	0	4.5	0	9.1	0	0	0	18.2	0

付問24-1 治療方法(件数ベース)



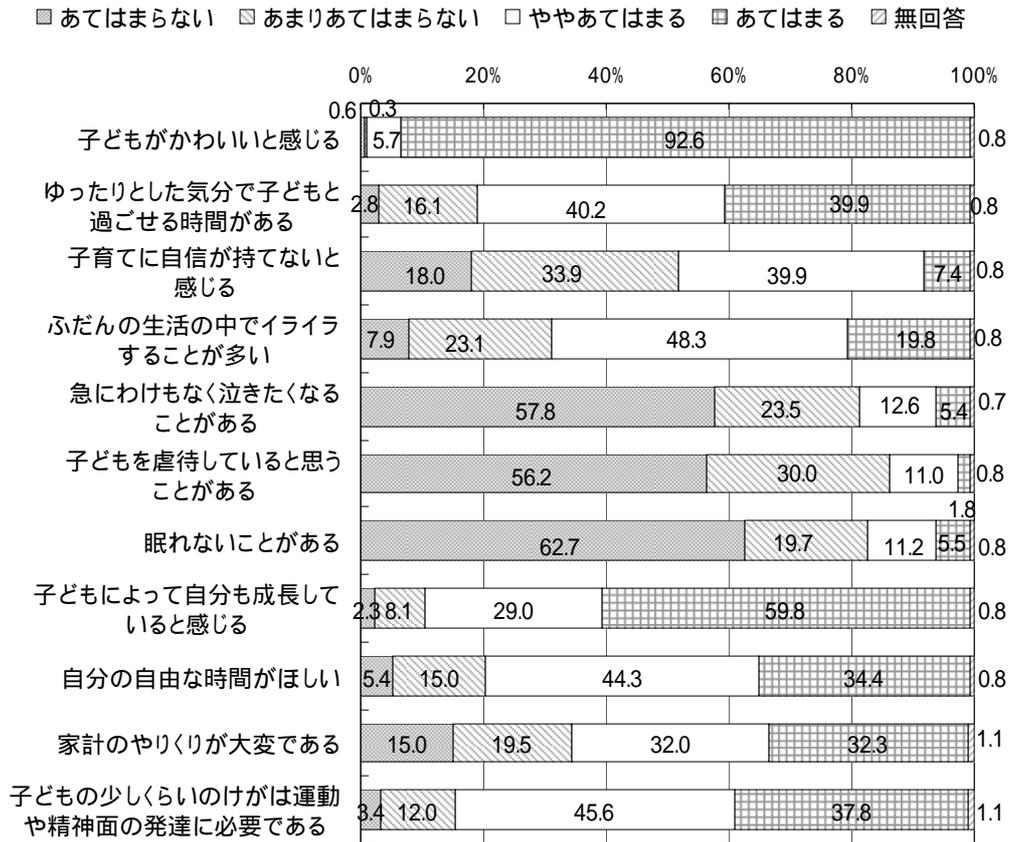
保護者の気持ち

問25 今のあなたの気持ちにもっとも近い番号を選んでください。

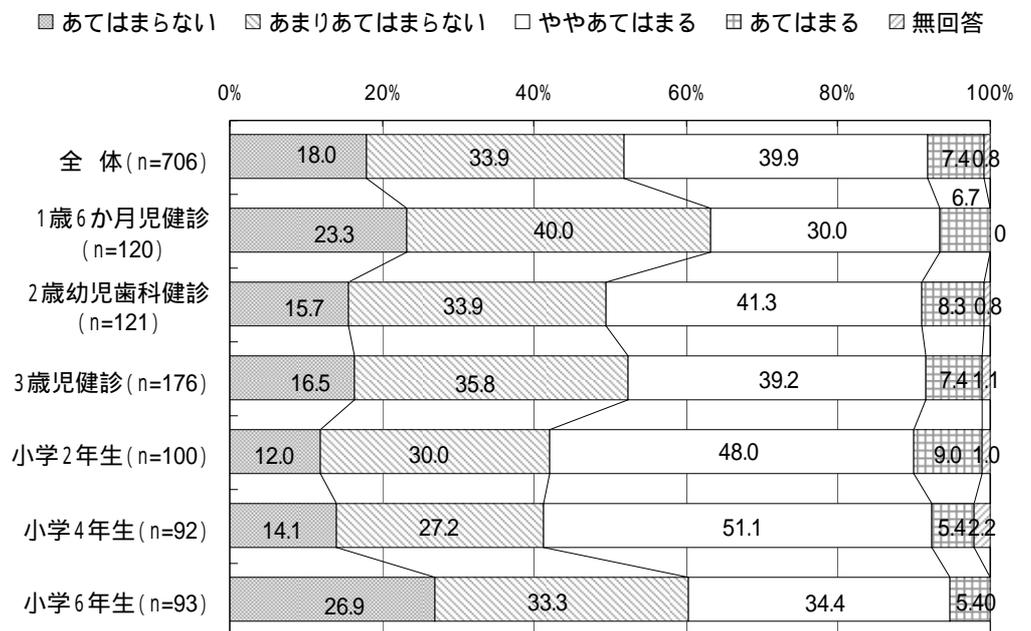
「子育てに自信が持てない」と感じている親は 47.3%、「ふだんの生活の中でイライラすることが多い」親は 68.1%と、育児不安に繋がる感情をもっている親は少なくない。

また、「子どもを虐待していると思うことがある」に対して「あてはまる」「ややあてはまる」と回答した割合は、11.8%となっている。

問25 保護者の現在の気持ち(育児不安) (n=706)



問25 子育てに自信が持てないと感じる / 子どもの年齢(学年)



育児等の悩みの相談先

問26 あなた自身や育児の悩みについて、誰に相談していますか。

育児等の悩みの相談先は、「友人・知人」(79.3%)の割合が最も高く、次いで「配偶者」(76.8%)、「同居していない家族や親せき」(60.1%) **であるとなっている。**

子どもの年齢別でみると、「配偶者」の割合が高いのは「1歳6か月児健診」「2歳幼児歯科健診」の層、「友人・知人」の割合が高いのは「1歳6か月児健診」の層、「同居していない家族や親せき」の割合が高いのは「1歳6か月児健診」「2歳幼児歯科健診」 **であるとなっている。**



	友人・知人	配偶者(夫、妻)	同居していない家族や親せき	職場の人	同居している家族(配偶者以外)	保育園、幼稚園、学校	市役所、健康管理センター、南部・西部保健センター	病院・診療所(カウンセラーを含む)	インターネット	その他	特になし	無回答
全体 (n=706)	79.3	76.8	60.1	12.9	11.2	8.8	6.4	5.4	5.1	1.7	3.5	0.1
1歳6か月児健診 (n=120)	84.2	80.8	71.7	9.2	9.2	7.5	12.5	5.8	5.0	2.5	1.7	-
2歳幼児歯科健診 (n=121)	82.6	86.0	70.2	13.2	8.3	18.2	9.9	7.4	5.0	0.8	0.8	-
3歳児健診 (n=176)	82.4	83.5	64.2	7.4	9.7	10.8	7.4	6.3	5.7	1.7	2.3	-
小学2年生 (n=100)	76.0	67.0	49.0	21.0	15.0	5.0	3.0	4.0	4.0	2.0	6.0	1.0
小学4年生 (n=92)	80.4	65.2	47.8	21.7	16.3	3.3	2.2	4.3	6.5	1.1	4.3	-
小学6年生 (n=93)	67.7	69.9	48.4	10.8	10.8	4.3	-	3.2	4.3	1.1	7.5	-

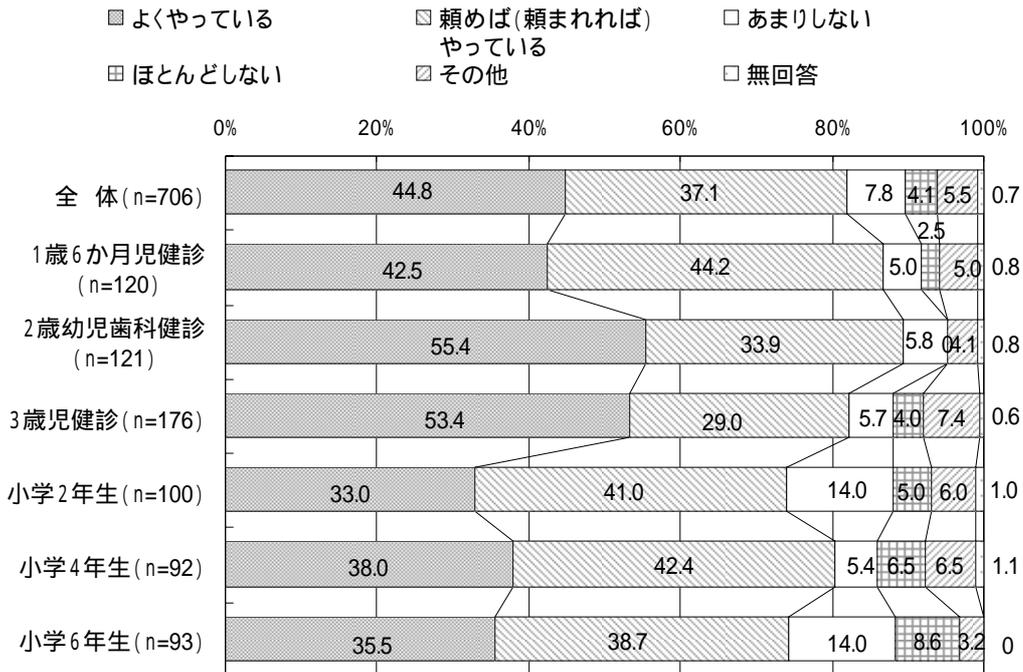
父親の育児参加

問27 父親は、育児に参加していますか。

父親の育児参加については、「よくやっている」(44.8%)の割合が最も高く、次いで「頼めば(頼まれば)やっている」(37.1%)、「あまりしない」(7.8%) **であるとなっている。**

子どもの年齢別でみると、「よくやっている」の割合が高いのは「2歳幼児歯科健診」、「3歳児健診」の層、「あまりしない」の割合が高いのは「小学2年生」、「小学6年生」の層 **であるとなっている。**

問27 父親の育児参加について / 子どもの年齢(学年)



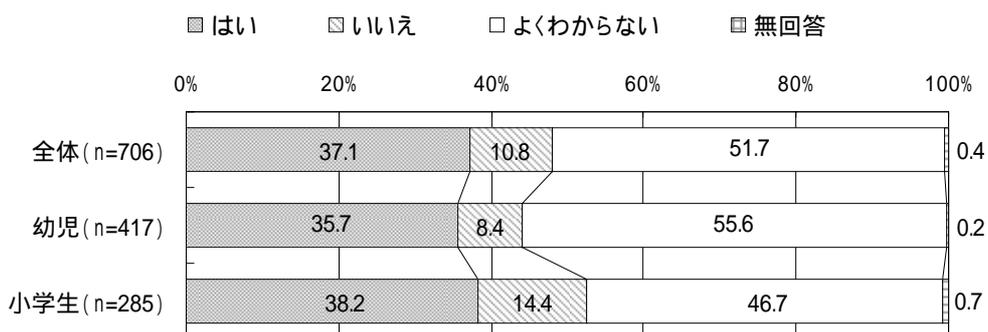
家庭での性に関する話

問28 あなたの家庭は、性に関することがらについてオープンに話せる家だと思いますか。

性に関してオープンに話せる家庭と思うかについては、「よくわからない」(51.7%)の割合が最も高く、次いで「はい」(37.1%)、「いいえ」(10.8%) **であるとなっている。**

幼児・小学生で比較すると、小学生の家庭で「いいえ」の割合が高い。

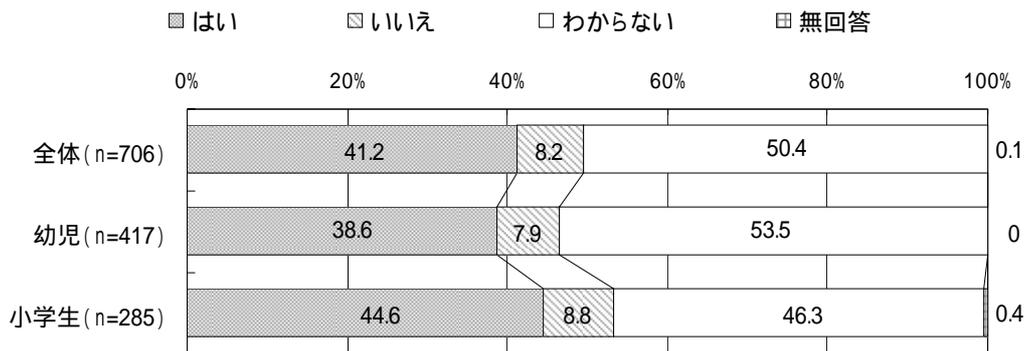
問28 性に関してオープンに話せる家庭か / 幼児・小学生区分



問 29 あなたは、お子さんから性に関する悩みの相談や質問を受けたときにきちんと答えることができますか。

子どもから性に関する相談を受けたときにきちんと答えられるかについては、「わからない」(50.4%)と「はい」(41.2%)、「いいえ」は(8.2%) **であるとなっている。**
 幼児・小学生で比較すると、小学生の家庭で「はい」の割合が高い。

問29 子どもから性の悩みや相談を受けたときにきちんと答えられるか / 幼児・小学生区分

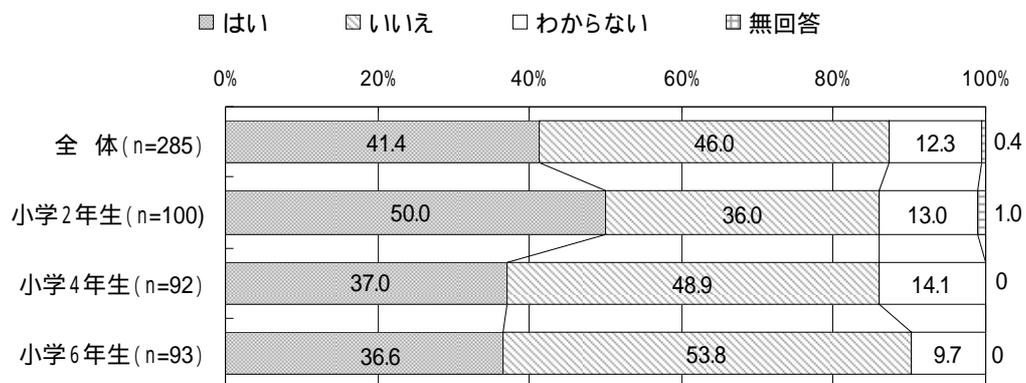


赤ちゃんに接する機会

問 30 (お子さんが小学生の場合のみ) お子さんに、赤ちゃんに身近に接する機会を経験させるようにしていますか。

子どもに赤ちゃんに接する機会を経験させているかについては、「はい」が41.4%、「いいえ」が46.0% **であるとなっている。**
 子どもの年齢別でみると、学年が低い層ほど「はい」の割合が高い。

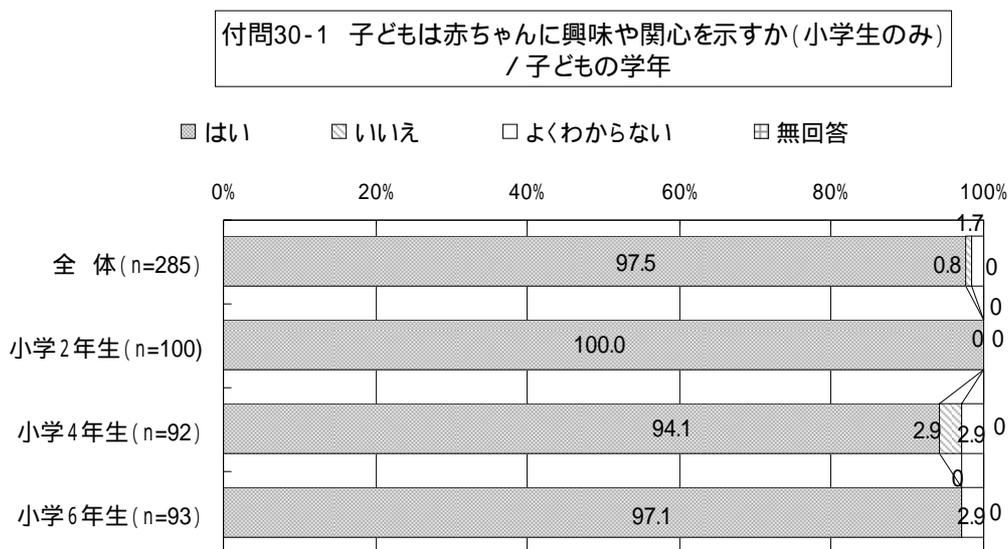
問30 子どもに赤ちゃんに身近に接する機会を持たせているか (小学生のみ) / 子どもの学年



付問30-1 (問30で「はい」と回答した人のみ) そのような時、お子さんは、赤ちゃんに対して興味や関心を示し、楽しそうにしていますか。

赤ちゃんと接するとき、子どもが赤ちゃんに興味や関心を示しているかについては、「はい」が97.5%、「いいえ」が0.8%、「よくわからない」が1.7%であるとなっている。

子どもの年齢別でみると、各学年とも90%以上が「はい」と回答している。



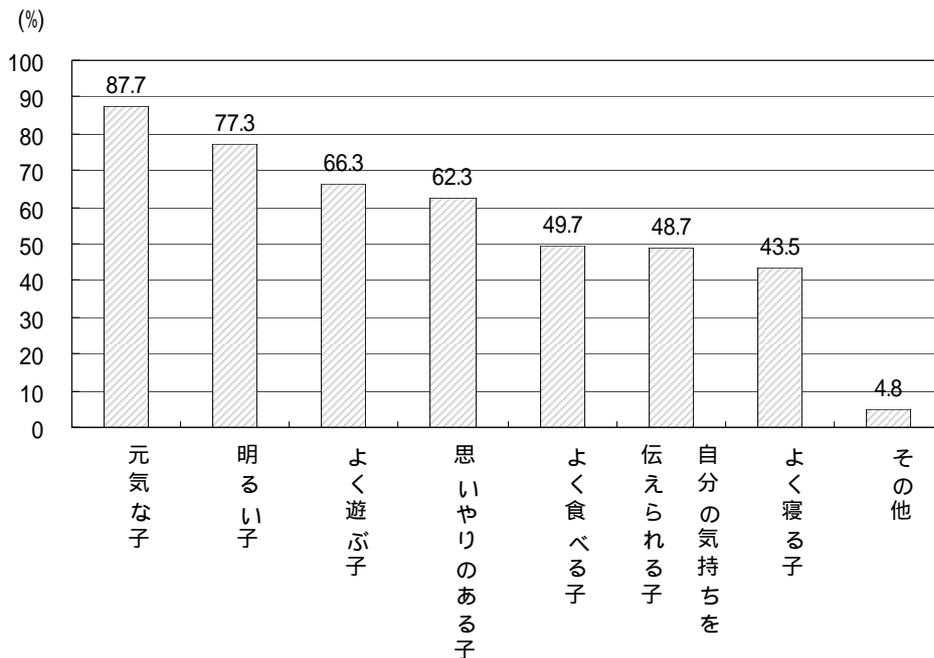
「健やかな子ども」のイメージ

問31 あなたにとって、「健やかな子ども」とはどのようなイメージですか。

「健やかな子ども」のイメージについては、「元気な子」(87.7%)の割合が最も高く、次いで「明るい子」(77.3%)、「よく遊ぶ子」(66.3%) であるとなっている。

子どもの年齢別でみると、「元気な子」の割合が高いのは「1歳6か月児健診」「2歳幼児歯科健診」の層、「明るい子」の割合が高いのは「小学4年生」「小学2年生」での層、「よく遊ぶこと」の割合が高いのは「1歳6か月児健診」 であるとなっている。

問31 「健やかな子ども」のイメージ / 子どもの年齢 (n=706)



	元気な子	明るい子	よく遊ぶ子	思いやりのある子	よく食べる子	伝えられる子	自分の気持ちを伝える子	よく寝る子	その他
全体 (n=706)	87.7	77.3	66.3	62.3	49.7	48.7	43.5	43.5	4.8
1歳6か月児健診 (n=120)	90.8	79.2	71.7	64.2	52.5	45.8	50.0	50.0	2.5
2歳幼児歯科健診 (n=121)	90.9	69.4	66.1	61.2	52.1	43.8	46.3	46.3	5.0
3歳児健診 (n=176)	86.9	72.2	68.2	60.8	52.3	51.1	50.6	50.6	5.7
小学2年生 (n=100)	86.0	87.0	57.0	57.0	44.0	48.0	34.0	34.0	2.0
小学4年生 (n=92)	89.1	88.0	68.5	65.2	50.0	53.3	41.3	41.3	5.4
小学6年生 (n=93)	80.6	74.2	64.5	66.7	45.2	49.5	32.3	32.3	8.6

10. 生きがいづくり、まちづくりについて

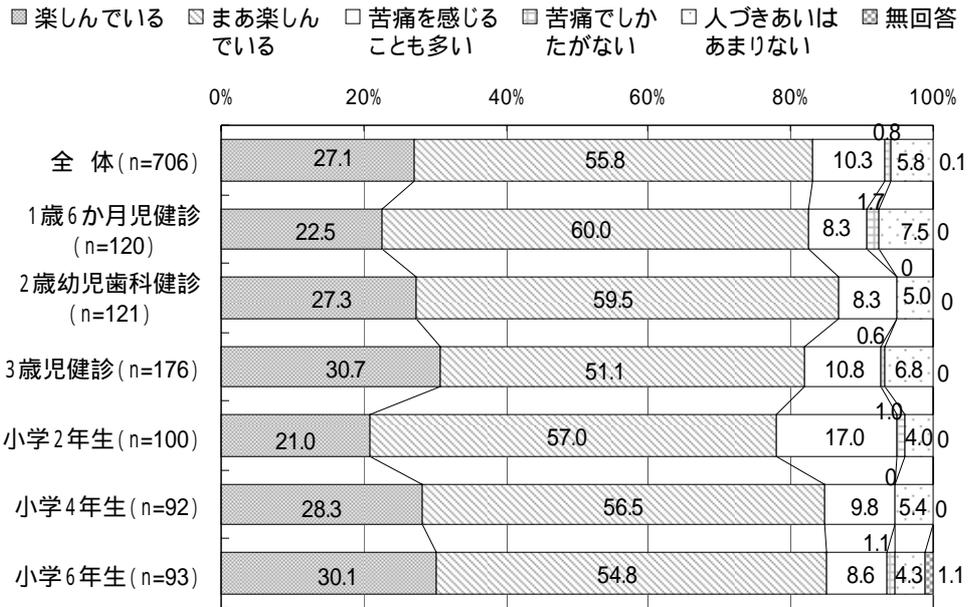
人づきあい

問32 あなた自身は、職場や家族、近所との人づきあいを楽しんでいきますか。

職場や家族、近所との人づきあいについては、「まあ楽しんでいる」(55.8%)の割合が最も高く、次いで「楽しんでいる」(27.1%)、「苦痛を感じることも多い」(10.3%)であるとなっている。

子どもの年齢別で見ると、「楽しんでいる」「まあ楽しんでいる」の割合の合計がやや高いのは「2歳幼児歯科健診」の層であるとなっている。

問32 職場や家族・近所との人づきあいについて / 子どもの年齢 (学年)



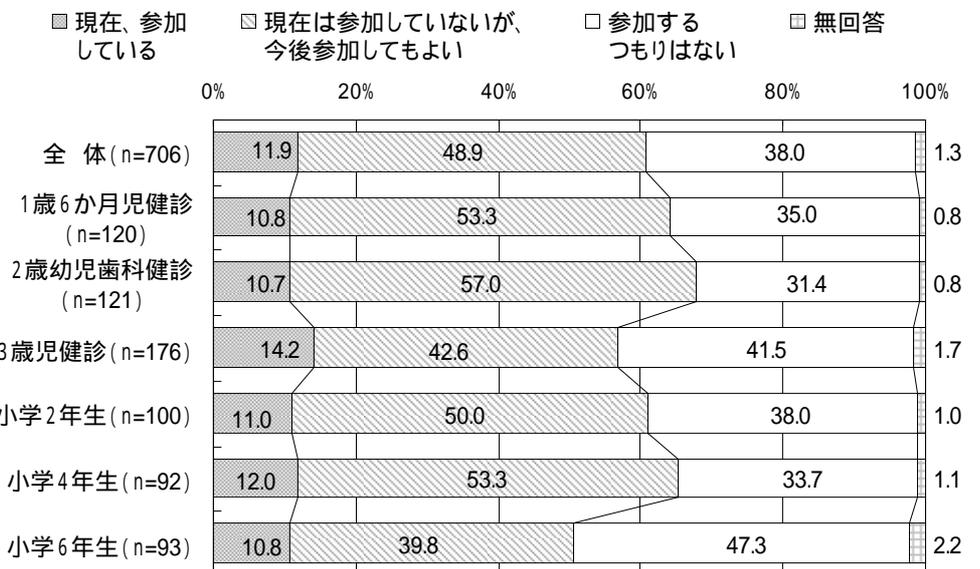
健康づくり・子育てに関する活動への参加状況・参加意向

問33 あなたは現在、健康づくりや子育てに関わる活動に参加していますか。また、今後どうしたいですか。

健康づくりや子育てに関わる活動への参加については、「現在は参加していないが今後参加してもよい」(48.9%)の割合が最も高く、次いで「参加するつもりはない」(38.0%)、「現在参加している」(11.9%)の順となっている。

子どもの年齢別で見ると、「現在参加している」の割合がやや高いのは「3歳児健診」の層であるとなっている。

問33 健康づくりや子育てに関わる活動への参加について / 子どもの年齢 (学年)

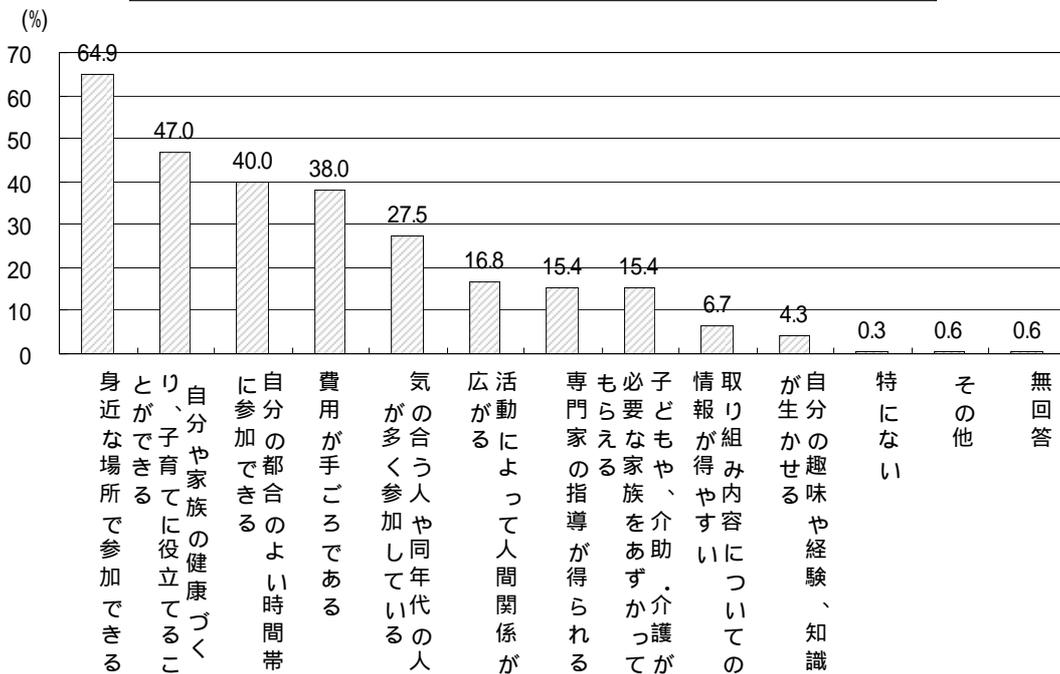


付問33-1 (問33で「現在は参加していないが、今後、参加してもよい」と答えた人のみ)あなたがこういったグループ活動に参加するには、どのような条件が必要だと思いますか。

健康づくりや子育てに関わる活動に参加するために必要な条件については、「身近な場所で参加できる」(64.9%)の割合が最も高く、次いで「健康づくり・子育てに役立てることができる」(47.0%)、「自分の都合のよい時間帯に参加できる」(40.0%) **であるとなっている。**

子どもの年齢別でみると、「健康づくり・子育てに役立てることができる」の割合が高いのは「1歳6か月児健診」「2歳幼児歯科健診」の層、「自分の都合のよい時間帯に参加できる」の割合が高いのは「小学4年生」「小学6年生」の層 **であるとなっている。**

付問33-1 健康づくりや子育てに関わる参加条件 / 子どもの年齢(学年)
(n=345)



	身近な場所で参加できる	自分や家族の健康づくり、子育てに役立てることができる	自分の都合のよい時間帯に参加できる	費用が手ごろである	気の合う人や同年代の人が多く参加している	活動によって人間関係が広がる	専門家の指導が得られる	子どもや、介助・介護が求められる	子どもや、介助・介護が必要な家族をあずかってもらえる	情報が得やすい	取り組み内容についての情報が得やすい	自分の趣味や経験、知識が生かせる	特にない	その他	無回答
全体 (n=345)	64.9	47.0	40.0	38.0	27.5	16.8	15.4	15.4	6.7	4.3	0.3	0.6	0.6	0.6	
1歳6か月児健診 (n=64)	67.2	60.9	26.6	40.6	28.1	14.1	14.1	20.3	6.3	4.7	1.6	-	-	-	
2歳幼児歯科健診 (n=69)	66.7	59.4	31.9	36.2	23.2	18.8	17.4	20.3	4.3	2.9	-	-	-	1.4	
3歳児健診 (n=75)	66.7	45.3	38.7	41.3	25.3	13.3	10.7	20.0	4.0	5.3	-	-	2.7	-	
小学2年生 (n=50)	60.0	34.0	40.0	44.0	32.0	22.0	18.0	10.0	4.0	-	-	-	-	2.0	
小学4年生 (n=49)	65.3	40.8	57.1	36.7	28.6	16.3	18.4	6.1	10.2	4.1	-	-	-	-	
小学6年生 (n=37)	59.5	27.0	56.8	24.3	32.4	18.9	16.2	8.1	16.2	10.8	-	-	-	-	